戰闘雜誌

進め

:Fighting Magazine
Su Su Me.
No. 6. vol. 1
July. 1923

一部十錢

第一年第六號內容

外交官としてのヨッフエ……
未來は青年のものである……水島渦三
第一線に立つ使命……羽生三七
青年の血は赤い……織田球一
失業問題の解決者……川内唯彦
高尾平兵衛の死……北原龍雄
自由青年聯盟の成立まで……羽生三七
ML會の活動……篠岡淳吉
ロシアの青年運動……沖龍雄
フランスの青年運動……小牧近江
朝鮮の青年運動……金若水
かくの如き青年……小川未明
自由なき青年……津田光造
ある日の日記……大無窮
鳴物入りの大検擧……田口運藏
伊豆諸島村の共産制……

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日露同盟の斷行を提唱す

一

日本の無產階級は、世界中何れの國家よりも最も深く露西亞を愛する。何となれば、露西亞は、現在の世界に於ける、たゞ一つの無產階級の國家であるからである。露西亞には資本家もなければ軍閥もない。一切の不合理が跡を絕ち、眞實の人間生活が營まれつゝある。眞理を愛する事が人間の至情である限り我等がかゝる國家を愛するは當然であらう。此の點より先づ我等は日露同盟を主張する。

二

無產階級の國際的結合、それは實に世界を革命する最大の槓杆である。資本主義が既に國際化し、資本家階級は既に世界的結合を組成せるを思へば、無產階級のインターナショナリズムは、階級戰術の上の最大の急務でなければならぬ。此の見地より見て露西亞との深き結合は、最大の意義を持つ。蓋し、無產階級自身の權力は露西亞に於てのみ實現して居り、露西亞との結合は無產階級の國際的結合の中に權力を含み來るを意味するからである。日露の結合は素より日本の資本主義的權力を介して行はるゝものであるとは言へ之に依つて我等無產階級と、露西亞との關係は急激に發展し無產階級の運動の世界的前進に一階段を劃するを得る。此の點に於て我等は日露同盟を主張する

三

露西亞は今、創造の苦闘裡にある。殊に工業的生產力の完成を待たずして、無產階級の政治的革命を遂行した所の、進化階段の飛躍に基く困難は、創造の苦闘を幾層か深めてゐる。日本との結合は、幾分此の苦闘を輕くするを得るであらう。戰前は奢侈品を賣つて特權群の淫樂を助け、戰爭中は軍需品を送つて軍閥の殺人を扶けた日本は、今や露西亞無產階級の爲めに生活と革命との資料を供しなければならぬ時だ。

併しながら、かゝる經濟上の必要は日本から見ても同様である。原料上の獨立を缺く日本は露西亞と一體となる事に依つてのみ、始めて近世的經濟生活の一單位を形成する事が出來るであらう。

更に、舊き口吻ながら、兩國の國防上の見地からも、兩國の結合は必要である。なほ暫く餘軍を保つ所の、歐米資本主義諸國は、その必然的なる侵略性を藏して北と東との世界を窺つてゐる。西比利亞を襲ふた日本の如き態度を以つて、何時資本主義國は牙を露はして來るかも知れぬ。日露兩國の結合は、それに對する對抗勢力を形成する上に最も有意義である。

四

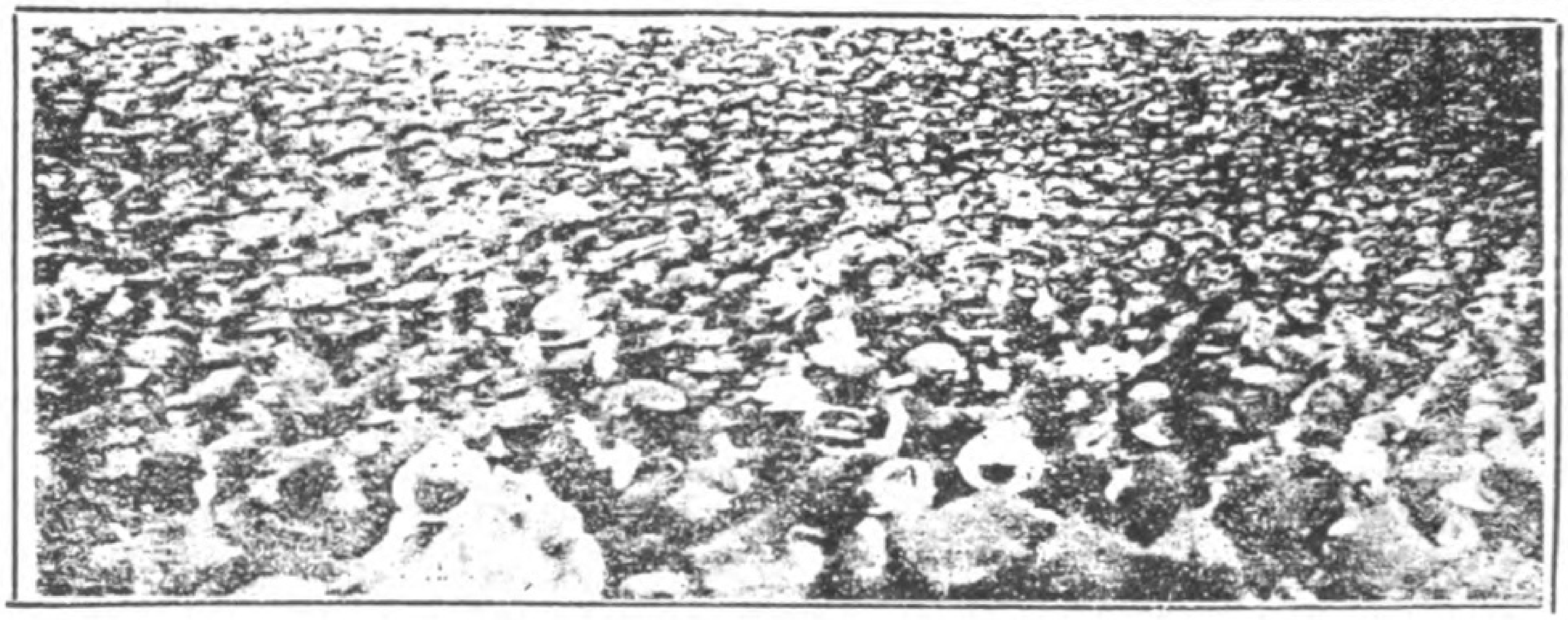
又我等は、革命後の國家との國際關係結成に躊躇する事が、甚だしき時代錯誤であると考へる。何となれば、世界を容れた革命の溶鑛爐は既に火を點せられてゐる。問題はたゞ順序だけであつて、何れの國々も順々に溶けて行く日が、迫つてゐる。かゝる信念を抱く無產階級より見る時、さながら革命を二度とあり得ないものゝ如く取り扱ひて革命後の國家を殊更に無視せんとするが如き資本主義的外交方針は許すべきものでない。それに對する抗議として、我等は日露同盟を主張する。

五

法學の智識を缺ぐ我等は、同盟なるもの國際法的意味や形式を知らない。併し、ながら、闘はんと欲する時に、國際法上の手續より砲口が重要である如く、結ばんと欲する場合には、先づ握手が急務である。我等無產階級が、眞情に燃ゆる手を差し延ぶるならば、何者がそれを妨げ得るものぞ、法典上の問題の如きは、即時空間に消滅するであらう。

我等は無產階級の見地より、日露同盟の即時斷行せられん事を提唱する。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



我々は今まで大衆を讃美ばかりして來たが、此の寫眞は先騙する者よ大衆を恃む勿れと敎へて居る。
これは、早大の反軍國主義學生大會に、主催の數人が暴漢に襲はれて居る所だ。見よ、默々として犧牲者を環視しつゝある幾千の學生のマヌケ姿を。
第一線に立たんとする同志よ、我々はたゞ、自ら武裝するの他はない。

大正十二年七月　戰鬪・進め・雜誌　第一年第六號

高尾平兵衛の死

一　高尾平兵衛が殺された。敵は、平常腕力を振ひそれに依つて我々の運動を妨害せんと揚言して居た者である。高尾が彼に挑戰した眞意や、高尾の最近に於ける行動などは今問題にしなくてもいゝ。我々は先づ、社會主義運動の破壞者に依つて、一人の社會主義者が殺されたと言ふ、眼前の一事實に對し、靜かに考ふる所が無ければならぬ。

二　此の事に依つて鮮くとも我々は、我々の前に閃かされて居た暴漢の兇具が必ずしもコケ嚇しの道具ではない、明かに殺人の使命を帶ぶるものである事を知らなければならぬ。我々の今後の進路には、百も千もの白刄や銃丸が我々に差し向けられてゐる。我々の運動は鮮血と死屍とを聯想せずして進める事は不可能である。問題はたゞ鮮血と死屍とが、敵のものであるか、味方のものであるかの一點にのみ殘されてゐる。

三　堺は刺され、森崎、稻村、淺沼等は撲られ、高尾は遂に殺された。暴力の脅威は刻々强度を高めて來た。それに對して我々が何の決意を要するかは言はなくてもわかつてゐる。學說や理論や言葉や文章は、人の心に對してのみ有効である。白刄と銃丸とには、眼も耳も心もない。

我々の運動の本流は、素より暴力との抗爭ではない。併しながら、我々の進路を塞ぐものとのすべての鬪ひは、避け難き我々の仕事であらう。

四　死ねばかりが誠だとの古歌がある。我々の運動に死の問題が直接關聯して來る時、行動は本統の眞劍期に入る。冗談や氣まぐれは引つ込む幕が來た。我執、偏見、繩張爭、獨りよがりで築き上げた、オモチヤのやうな運動は早晩芥溜の中に逃げ込むであらう。

五　高尾平兵衛君よ。君の死は眞に戰はんとする者に尊き敎訓を暗示した。君の死が、社會主義運動の白熱化し眞紅化する一動機となるならば、君は決して徒死したものではない。それに滿足して君は靜かに眠れ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時評

同人

學界の異景

早大軍事騷動のトバチリが飛んで反動的暴力團の活動となつて現はれた。そして早稻田一面は資本主義的絶對自由の爲に、文化同盟會員は私刑に處せらるゝの光榮に浴したさうだ。おまけに今度の××事件に早大の教授も關係あるとかで、恩賜館内の研究室に官憲が侵入し、講義の絶對的拘縛をするやうな支配階級的自由振りを發揮した。

由來早大の歴史は往年の市電ストライキ破りを以つて燦然と輝やいてゐる。またしても國家權力の臨檢の光榮に感泣せねばならない偉大なる光りを増した『市民の爲』といふ名の下に、その大部分を構成する勞働者を犧牲にした早大は、今度は『國家の爲に』眞理を破棄せしめやうとした。

ところが眞理の爲に、ゴマカシ、デモクラシーをも弊履の如く捨て去つて『砂上のデモクラシー』に反逆した大山教授は立つた。先に教授が學界に立籠つて巷に出ないのを多くの社會主義者は罵倒した。然し此度の教授の態度はこの罵倒から全然免れ出た。老猾野猿の如き高田總長の泣き付や、鈍骨鉛の如き内ケ崎養の出演拒絶や、加ふるに暗々の當局の壓迫、反動團體の威壓に會して、益々鬪爭の心を養つて行く教授の姿に對して、賣名的座談主義者は往年の罪を膝下に詫びなければならない。

吾々は教授は學界に於いてあくまで眞理を逐ひ、資本主義的國家權力に對抗して行かれたことを習ばなくてはならない。（松）

欠伸の始末

資本主義が腐つて、欠伸をし出すと、資本家階級のものは等しく換氣劑に何か新鮮な事件に首をつつ込み度くなる。こんな意味で利慾七分、好奇心二分でブルジョアやその犬共が盛んに日露親善を口にする。プロレタリアがプロレタリア國家に對して親交を求めるに何の不思議はない。が然し氷炭相容れない赤い國にヤタラに手を出して一寸火傷して見度いやうな好奇心から、若しくは大慾の爲に矢鱈にプロレタリアを喰物にする爲のプロレタリア國家と近付かうとする了見に氣をつけねばならない。

特に此の頃嘉悦孝子とかガントレット恒子とか、櫻井ちか子などゝ云ふお婆さん達が、毎日のダンスと毛唐相手の醜關係に厭きた欠伸の始末にヨッフエ夫人を擔ぎ出した態つたらない。

腹の中では赤ものなら廣告でも眼を廻しながら、赤國と共にやらなければ國民の注意を惹くことの出來ないのはむしろ可愛相だ。世の中では貴婦人連がどうしたなどゝ云ふお上品なことは聞き厭きたからね。

でも、あまり無暗に無産階級ばかり喰物にしてゐると身を害ねるとのあるを豫告する。（松）

暴力のくしやみ

六月廿一日の晩大雨中、龍燈が消えたかと思ふ間もなく革命歌を歌ひつゝ森傳の住宅と縱横クラブ本部を襲ひ、外燈は粉微塵に打ちこわされ看板はムシリ去られたと廿二日の朝刊に報せられた。

其處で流言が頻りに飛ぶ。『革命歌の聲と髮堅振りの組織立てゐたことは暴漢が社會主義者だと想像するに難くない』とか、又曰はく『爆彈の音も聞えた』とか、又曰はく『クラブ員は留守中だつた』とか、更に曰はく『その時縱横クラブの窓から二三の人影が毬の如くに飛び出して逃げ去るのを見しものあり』

奇妙なのはその後新聞紙上に表はれた縱横クラブの決議である。マサカ急に弱音を吐き出した譯でもあるまいが、當分言論のみを以つて外來の思想の絶滅を畫ると、實に虫のいゝ利口さだ。正體の知れぬものには怒じ手を出すまい大怪我のもとだから、人の噂も七十五日その中默り込んでも惡くはなからう。

何にしても生命の保證なきプロレタリアはシッカリ自衛の力を養ふが肝要。（兼）

餓死獎勵の勞働法案

今年議會に提出された『工場法中改正法案』は委員會の附託になつてゐるが、九月頃は緊急勅令として表はれ間もなく實施せらるゝ筈だと傳へられてゐる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

その內容は主として、國際勞働會議で勞働階級の裏切り者と、山師や高利貸の代辨人などが集まつて作つた決議に基くもので、その中には婦人と年少者の鑛山に於ける地下勞働を禁ずるといふ一項目があつた。

女子供を地の底で家畜同樣に追使ふことの慘さは誰にも分り切つたことだ。文明國の名の爲に、自己の醜さを被はなければならぬといふところに資本主義制度の矛盾がある。頭の惡い識者共には女が地下で働けなくなつたら家政婦にするがよいと御芽出度いことを云つてる輩もあると聞き及ぶ。こんなことで婦人達が悲慘な勞働から解放されて家庭生活を享樂し子供達は際りなく身心の生長の爲に愉快な勉强が出來るものなら、世の中は至極面白いものだらう。

日本には卅五萬の鑛山勞働者があるといふ。その四割二分（八萬四千）は女子供で占めてゐる彼等は親子夫婦でモグラのやうに穴を穿つて地底を掘返しながら貧乏のドン底から浮び上る瀬はないのだ。いや大人の男子には今迄三倍に相當する賃銀を支拂つて吳れるといふのかね。ナアニそれ所か彼等は八十萬に達せんとする失業勞働者を勝手に殺したり生かしたりしやうとする。その爲に彼等が橫暴なる權力によつて壓へつけて置き、より安い賃銀でこき使ふことの出來る朝鮮勞働者に注目した。ところが內地に鮮人を密集させて置くのは自分で自分の墓穴を掘るに等しい心細さを意識した。その筋の頭痛の種となつたのもこれ又無理からぬことである。其處で支那の苦力を輸入すると氣付いたのは秀逸だ。蓋し彼等は支那の苦力に限つて近代產業に從事しても階級意識に覺醒しない特質を有するものと考へてゐるのか。兎に角俺達無產階級の萬國の兄弟は手を堅く握つて自己階級利益擁護に力を盡さねばならぬ。

この事實によりても、溫情的協調主義や小刀細工の社會政策がプロレタリア解放を齎す道でないことは、現在制度の必然的に崩壞すべきことゝ、勞働階級の獨裁を通しての根本的社會改造の必要とを明らかに知ることが出來やう。（兼）

組織へ

對露問題は刻下の大問題だ。

始めは、社會主義者が、その國際的無產階級の立場から勞農承認の運動を起した。世の中は皮肉だ。今度は、ブルジョアが「餓が喰ひた」くなりだした。經濟的に行き詰つて二も三進も身動きがされなくなつたからだ。それかと云つて流石に「命は惜い」。併し、彼等は、ソロバンが商賣利慾の爲めとあらば、いゝ、ダンピラ頰かむりで尻をはしよる位の蕪度胸を有ち合はせてゐる。

主人の胸算用が、かう變つて來ると、その番頭、手代、番犬たる者も、さう勝手な事が出來なくなる。そこで、小細工を弄する。今度の所謂共產黨檢擧事件なるものも要するに、狂犬どもの笑ふべき（勿論憎むべき）小策の一だ。大番頭の政府はオロオロ聲で、對露問題は、俺が引受けたと見榮を切つた。其の時政府の不徹底をざいやしつけるべく立つたのが、急進ブルジョアと呼ばれる連中だ。かう云ふ青年の一味が、勞働運動者、社會主義者の一味と對露承認の一點で、提携した。六月二十日の「對露問題懇談會」がそれだ。赤旗を振つて過激な歌を唄ふ事のみを革命運動と心得てゐる人達は「政府の行動が何だ」と嘲笑するであらう。併し俺らは、考へねばならない。政府は威力だ。若しこれが、少しでも、こいつちに利用出來るものなら、見遁がしちやならぬ。「大衆の中へ」といふ事は、大衆を動かして、敵陣を突く大目的のためには、如何なるものでも大膽に之を利用せよの意味だ。

さりながら向ふを利用するか此方が利用されるか力の問題だが、その力を個人の手腕や才幹等に求めるのは危險極まる事だ（個人は容易にミイラになる。）力は大衆より生れる。が、大衆そのものが力ではない。大衆に力あらしむるものは組織である「對露問題懇談會」は、今後如何なる實行運動となつて發展するかは解らぬが、この種の國體運動がいよ〳〵起り來ることが想像される。

この邊に、プロレタリアの政治運動を考慮する人々の、好題目が伏在してはゐまいか。（岡）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

外交官としてのヨッフエ

革命當初の彼

ヨッフエ――アドソフ・アブラモヰッチ・ヨッフエ――の名は、今や全世界に鳴りひゞいてゐる。

彼の生れたのは、南露のあの暖かいうらゝかな風光明媚のクリミヤであつた。鄕里に因んでクルイスキーと號して居る。

今、世界の近世外交史上に、一大骰子を投じつゝある彼の眞價は、早く十月革命に際して發揮された。

當時の彼は、十月革命の中堅と言はれた所の「軍事革命委員會」の委員長であつた。此の重任を負ふた事に依つて、既に彼の力は窺ひ知られる。果然彼は辣腕そのものと呼ばれた、チエルヂンキスキー副委員長と力を協せて、晝夜奮鬪、ボリシエヰキー直屬の赤衞軍を始め當初なほ動搖しつゝあつたピーテル駐屯の各聯隊を操縱督勵して、とう〳〵ケレンスキー政府をデングりかへしてしまつた。

而も、此の時の革命戰の最中に、彼の溫い一面が示された。それは、赤衞軍の一隊がケレンスキー政府の立てこもつた各家の防禦に當つた女子大隊を捕虜にして彼の牙營スモーリヌイに連れて來て「何う處分しやうか」と彼の指揮を仰いだ時、彼は殺氣にみちた勞兵をなだめて「男裝軍服を脫いでもとの娘御前にしてやれー」と命じ、スモーリヌイ（もとの華族女學校）の倉庫にあつた女學生服を着せて卽座に放免してやつた。これは、今でも十月革命亂中のエピソートの一つとして話の種になつて居る。

さて愈々ケレンスキー政府は倒れたが勞農政府はまだ出來上らぬ。國內は無政府狀態に陷つた。期間は短かつたが、此の間「軍時革命委員會」は唯一の權力として、あらゆる問題の裁斷を持ち込まれ、軍時の外に雜多な政務にも當らざるを得なかつた。此の時彼は、テキパキした手際を示した。

その後一九一九年の秋、革命二周年に際し「共產インターナショナル」誌に彼は當時の回想錄を寄せて「軍時革命委員會――それは實に第一プロレタリア政府」と名附くべきであつたと記して居る。それならば彼は、露國革命史上「第一プロレタリア政府」の首相の名を殘す人でなければならぬ。

外交戰への出發

彼が外交官としての、絕大の天分を示したのは、實にブレストリトウスクの講和會議である。此の會議に於て、始め彼は正使として立ち、次にはトロツキーの副使として臨んだ。

革命後の敗殘國を代表して、克ち誇つた軍國獨逸を前に廻す恐らく外交上の最も不利益なる條件は完備されて居た。その中にこの彼の武者振りは、今でもその速記錄を讀む人をして血湧き、肉躍るの感あらしめるものがある。而も戰況は益々振はず獨墺軍は長驅侵入して威嚇しつゝ、最も屈辱的なる講和の調印を迫つた。

勞農內閣ではたゞレーニン一人『講和條文を讀まずに盲捺せ』と主張したが、他の閣僚は殆ど悉くこれに反對し、彼もトロツキーと共に『斯る屈辱講和に調印が出來るものか』と敢然拒否し、トロツキーは外相を、彼は講和全權を固辭することゝなつて、その代りにソコリニコフ、チチエーリン及ペトロフスキーの三人が改めて全權として派遣され、所謂條約文を讀まずに盲判を捺して來た。但し彼は序幕以來の花形役者として、彼が行かねば何うしても大詰が打てぬといふので無理矢理最終の會議にも引き出されたが、出發に臨んで『自分は此の講和に絕對に反對である。從つて責任を負ふ事は眞平御免だ、たゞボリシエヰーキ政黨の統一を破ることを避け、黨規に服從を表示するため、特に顧問の資格で行くのである。』といふ聲明書を發表して自己の態度と立場を明らかに

したのは蓋し傲岸で負けず嫌ひの彼の性格を最もよく證據だてると共に、黨規を重んずる彼の眞面目さが示されてゐる。

彼が若し、ブレストリトウスクの最後の幕にあのやうな頑强な態度に出ず、レーニンの命ずるまゝに全權として署名したならば、講和當面の責任者として當然トロツキーの後を襲つて勞農外相たるべきであつた。然るに傲岸な彼はそれに出ずして、却てトロツキーと進退を共にしそれが爲に外相の椅子に講和調印者たるチチエリンにまはり、彼自ら後輩のチチエリンの下で働くことゝなつた。

十月革命に際して彼の軍事革命委員長の下に副委員長であつたヂエルヂンスキーは夙くに鬼內相として勞農內閣に重きをなし、ブレスト●リトウスク講和に際して彼の下に副使であつたカーメネフはモスコー●サウエート議長と、全露サウエート中央執行議會副議長との二つの要職を併せ占め、チチエリンは外相、ソコリニコフは藏相、皆それ〲勞農臺閣に列して居る。獨り彼は今日尙ほ一大使格に過ぎないけれども彼が十分大臣たるべきの資格を既に革命の當初に於て確保し得た事は自他共に認めて疑はぬ所である。のみならば、此の事に依つて、地位や名聲を顧慮せぬ彼の美點が、充分示されてゐる。

彼の大使としての振り出しは獨逸であつた。然し彼は誠に毛色の變つた大使であつた。對手國の政府との親交などは棚にあげて逆にそれを顚覆するのを第一の使命と心得た厄介な大使であつた。

伯林に來た彼大使はいきなり大使館を獨逸赤化運動の參謀本部にして盛んにスパルタカス團などを後援した。獨逸政府がこれに對して抗議を申込むと『それは勞農政府がやつたのではなく、共產黨の仕事である。宣傳をせぬと條約で約束したのはサウエート當局であつて、ボリシエーキの知つた事ではない』と平氣で赤い手を四方に伸ばしたものだ。流石の獨逸政府もたまらなくなつて彼大使に伯林撤去を求めたが、獨逸を去つた後の彼は、依然その赤い手を獨逸內部の奥深くへのばして間斷なく赤化運動を進め、さう〲其年の秋獨逸は遂に革命の火の手に蔽はれ、聯合軍はおかげで漸く獨逸を征服することが出來た。

彼が得意の戰術

彼は自ら講和メーカーだと稱してゐる程に、講和會議を成立せしむる妙手である。彼のこれまで參與した講和會議で不調に終つた事を聞かない。しかし此の事は、決して、彼の妥協性に富んだ事に基いて居らぬ。それは、ブレスト●リトウスク講和でも彼は最後の幕で敢然調印を拒否した事に依つても明かである。

思ふに彼の戰術は、先づその繰る「講和船」を態々暗礁に近づける。たゞその最後の瞬間と思はるゝ時、自分も危地にふみこみながら對手側を吃驚させ、ヒヤ〲させる。周章狼狽愕然として自失する。そこを覘つて巧みにつッ込む。危機一髮の所で、九死中の一活路に躍り出で態ざと窮して然る後に通ずる道を見出す。そこに彼の外交の奥の手がきらめく。そこに彼の得意な外交戰術が弄される。

初めて彼と向ひあつて談判する時、對手の者は先づ第一に彼の兩眼の一種のクセあるきらめきに眩惑される。それは多分眼鏡の度が右と左と違つて居る故であらうか。强度の眼鏡を越して光る彼の眼は右と左とその光り方が同じくない。右眼が眞直ぐ此方を睨んで居るかと思つて居ると、左眼がその鋭い視線を側の方に投げつけて居る。それが單に眼の方向だけならよいが何うも彼の腹の底の外交術策も同樣。方向を左右にして對手方を惑はすやうに思はれ、彼の眞意の那邊にあるか容易に端倪するを許さぬ。

一九一九―二〇年の冬ドルパットの講和會議で彼の向ふを張つたエストニア全權は小國の政治家ながら「北歐のウエニゼロス」とも言ふべき喰へない老猾爺のボスカ氏であつて種々と彼を手古摺らせたものだが、然し又彼も隨分手きびしくボスカ爺を苛めつけた。散々油を絞られた相手のボスカ老人はあんまり頭を痛めた爲に會議落着後間もなく腦充血で卒倒したエストニア政府は之れを病死と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せず「講和戰の戰死者」として鄭重な國葬をやつた。此の一事を以てしても彼の凡常ならぬ力が推測される。

リガ會議の成功

彼の今日までに參與した講和會議は數多あるが、その中で彼が外交家として最もよくその「講和メーカー」としての手腕を揮つたのは波蘭對手のリガ會議である。

當時波蘭の背後には佛蘭西があつた。戰場では佛將ウエーガンの作戰による波蘭軍の逆襲でトロツキー麾下の赤軍がヒタ押しに押されて大敗退を始めた。勞農政府にとつては形勢極めて不利な時であつた。否な殆ど危急存亡の秋であつた。しかも彼の辣腕は啻にリガ講和を成立せしめたばかりでなく、その條件を見ると、何方が戰勝國か戰敗國かわからぬ程互讓的である。否な寧ろ、戰敗國たる露國側がまるで戰勝國のやうな成功を示した。

彼は實にワルソー城下に於けるトロツキーの敗を轉じてリガ講和の勝となした。勞農外交に於て彼の發言の愈々色めきをなし、トロツキーの彼に對する信頼の益々深くなつて來たのも決して偶然の事と言へない。

ゼノア會議ではラツパロ條約で協商列強の度膽を拔き、會議の中頃飛行機でもモスコーへ逸早く歸來し「資本列強の協調を破つた――」とサウエート外交の成功を祝福したものである。

革命精神の外交家

今日のサウエート外交の樞軸は外相チチエーリンと彼の兩腕たるリトウヰノフと彼の三人の掌中にあると言つても過言ではあるまい。

一時クラーシンが倫敦へのり出して對外折衝を一人で背負つたかの觀があつたが、もう近頃では外交方面に於ける彼の時代は既に過ぎ去つた。一九二〇年のドルパツト會議ですら最初正使として來たクラーシンは途中で副使の彼にその弱腰を詰られてモスコーへ引かへさねばならなかつた。

思ふに、彼が外交官として、斯く勇敢であり傲岸である所以は、素より彼の先天的素質にも基くのであらうが、他の一面に於て、彼の背後には祖國の全國民が、直接彼を支持してゐる所に、かゝる強き態度の原動力が潜むであらう。

何となれば、彼が代表する露西亞は、無產大衆の國家である地主なく資本家なく特權階級なき國である。露西亞にありては國家の意志は全國民の眞の意志である。國家の爲めは直ちに全國民の爲めである。

かゝる國を代表して外交の舞臺に起つ時、何人も大勇氣大信念を喚び起し得るであらう。自己の行動の一つ々々が、同胞全部の利福を直接代表して居ると思ふ時、眞の英雄的感情が湧き上つて來る事は當然である。我がヨツフエの常に見事な武者振りは實にこのやうな精神の外に現はれた姿である。

併しながらかゝる精神は、國家の利益が少數のブルヂヨアに依つて獨占せられ、國の爲めは實はブルヂヨア階級の利益の爲めに他ならぬ國の、外交當局者の想像もする事の出來ぬ所であらう。

露西亞を代表する露西亞人のヨツフエが、日本の大衆の間に異常なる人氣を喚び起してゐるのは何が故か。それは實に日本の大衆の腹の底に潜む所の、プロレタリア的情意と革命的精神に於て、彼れヨツフエに共鳴一致する所があるからである。

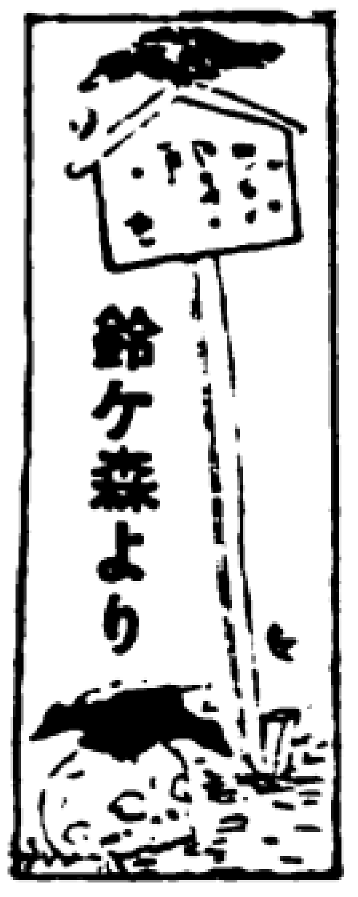
一つの國の大多數國民が自國の代表者よりも遙かに多くの敬意と親情とを對手國の代表者に拂ふとは、面白いと言はうか可笑しいと言はうかブルヂヨア國家の矛盾と背理とはかゝる場合にも白狀せられてゐるのである

ソヴイエツトと無產階級組織

ソヴイエツトは一九五〇年の革命に當つて勞働者の代表者によつて作られたところの階級的の一組織であつた。ところが一九一七年の大革命の時、至るところに勞働者のソヴイエツト、兵卒のソヴイエツト、若しくは農夫のソヴイエツト等が續々として現はれた。そしてプロレタリアートが權力を握るさきにも『總ての權力はソヴイエツトに』がその合言葉が出來上つた位であつた。

そして一度プロレタリアートの手に政權が握らるゝや、今迄支配階級に對しての鬪爭具としてのその組織は、今やブルヂヨアを支配する爲の要具となつた。故にソヴイエツト權力は無產階級組織の一形式であつて、ブルヂヨアや地主共の反抗を打ち碎く爲の鬪をなすのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



鈴ケ森に夕陽が映ゑる

鈴ケ森に夕陽が映える。往年の支配階級の殘忍の歷史を偲ぶ鈴ケ森刑場に既に三ヶ月の日を送らうとしてゐる。然しながらもう一週間足らずで私は再び七ヶ月親しんで來た牢獄に歸らねばならなくなつた。反逆の文字を鮮血で描かうとする胸を抱いて、幾多の同志と別れて行くのは一寸心細いやうな氣がするものの、日々に映えて行く無產階級戰線の光を考へるとき、私はあらゆるものを犧牲にし得た歡びを感ずる。私はもう一週間足らずで去るが、それと同時に新しい同人として岡陽之助君を迎へたことを讀者に報告する。君は、最近まで雜誌『民衆の意志』に無產階級の闘士として健闘された人である。『進め社』は將來この種の人が益々必要となつて來たとき、私としても君を讀者の前に紹介し得る機會を持ち得たことを喜ぶ。

さらば讀者諸君! 一層自愛あらんことを切望する。(一九二三年六月廿三日 小野寮次郎)

松並齊君入社

○彼、北海道の產。搖乎たる大平原に孤々の聲をあぐ、彼が性の、磊々として物に屈托せず、すく〳〵と伸びて、邪智無く、頰の林檎色なる、是れに因なしとせず。

○彼の、文を良くし、一時に過つて戯曲、創作に走つて人を驚かすも、さることながら、甚だ劍を愛して實に眞影流三段の腕前を有ち合はすと云ふに至つてはけだし、人の肝を抜くの價あらむ。

○彼今、暴力高唱の我が『進め』社に入る。腕を撫しては定めし、北叟笑みを禁じ能はざるべし。我れ こゝに、彼が入社を喜び、誇つて彼が名を江湖に吹張す。(岡)

研究會の發展

鈴ケ森に住める者とし云へば直ちに首切り役と考へられる。また今迄の進め誌上では暴力練習ばかりしてゐるところだと思はれたらしい。けれども進め社として決して單なる盲目的暴力を發ふところではない。歷史の必然を信じ資本主義制度の一角をも餘さず解剖し批判せんとする智識慾も我々の胸の中には多分に藏せられてゐる。

それで定期研究會を開いてゐる。毎週月曜と木曜の晩輪講若しくは輪讀、自由討論をやる。そして現社會教科書としてカウツキー原著、堺利彥氏譯の『社會主義倫理學』を使つてゐる。勿論外からの共に研究せんとする人の來るのを歡迎する。

また五月十三日は、日本に於いては始めて反軍閥の氣勢が早稻田大學内に擧げられ官憲と反動主義者の暴力によつて無產學生の幾人かは傷いた日だ。山川氏は云つた『全國の青年は血の土曜日を記念せよ』と。

さうだ我々はこの意義ある流血を記念しやう。我々の同志の血で濟められた土曜日を記念しやう!

この意味に於いて私達は毎月第二土曜日を、資本主義を擁護する軍閥の諸關係を研究し、批判する會を作らう。それがやがて我々の思想に益々強い力を與へてくれることのあることを信ずる。(松並)

會計室より

我々の雜誌『進め』はブルジョアリベラリストの賣文屋共や、精實思想屋共の賣名的名聲によつて——賣る雜誌と異ひます。諸君の御希望に依つては何程でも送ります。然し我々も無一文のプロレタリアですから實費丈けは頂きたいと思ひます。

本號から誌代未納者には雜誌發送を中止します。然し今御都合が惡ければアトでも我慢しますから御返事を願ひます。

諸君が此の雜誌を育てゝ下さるとはつとも主義に忠實な所以と思ひます。(安達健吉)

田口氏より

今回の共產主義者檢擧事件に就き、小生何か、新聞記者に云々したる如き記事ありしも、右は全然虚構の事實に過ぎず、一部同志に對しても、或は誤解あるやも知れずと思ひ候間、一寸打消しまで、若しも出來れば誌上に發表なし下されば幸甚に存じ候。

精養軒にて 田口運造

日本の無產階級諸君!

鈴ケ森は今も昔も變りなき鈴ケ森である。封建權力の發露なる刑場に作られた鈴ケ森は、今や資本家階級の娛樂場たるスナフロといふ奇怪なるものが立ちすくんでゐる。私は異民族の者だ。而も日本の資本家階級に殘酷なる搾取を受けた歷史を有する朝鮮無產階級の一子弟である。それなればこそ我々は單なる偏狹的民族意識から離れて、日本の無產階級と握手しやうとするのである。我々の力はインタナショナルだ。我々の武器はインタナショナリズムだ。萬國の無產階級團結せよの標語が我々の生命である。

私は日本の若い闘士の溫い握手によつて、滿身に熱い血潮が燃えるのを覺える。二十六日夜神田青年會館で大山敎授は云つた『科學によりて封建社會を征服した資本家階級は、今や科學の進步を妨げつゝあり』と。又曰く『科學は民衆の武器である』と。然り、科學の力よ!、それこそ我々を再び立たせたダイナモであつた。我々は歷史の必然を信じた。そしてその必然に加へらる、力の反動のあることを豫期した。支配力の崩壞を豫期して最後の反動力まで無くし、科學を正しい道に導かうといふことの使命を持つた。科學は眞理である。眞理は普遍である。國境がない譯である。醫學も植物學もその本源が國別によりて區別のあつたことを知らぬ。同樣に我々の社會科學も眞理であれば國別の本源のあらう筈がない。さらば日本の無產階級諸君よ!共に手を繫がうではないか。(崔甲春)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級青年運動

最近の數年間に無産階級の運動は一つの新生面を開いた。それは革命的青年運動の擡頭である、人間の抱き得る激情と信念と勇氣との極頂點を示しつゝ、青年運動は今や我等の陣營の第一線に雄叫びを擧げつゝ現はれた。

青年の眼は直視する。一切の不合理はその前に正體を曝露すべく、一切の虚僞はその前に紛碎せらるゝであらう。

無産大衆の前進は之に依つて著しく速度を高めた。ブルジョアの社會群は之に依つて新しき不安に戰慄しつゝある。

かくて歷史を推轉せしむる樞杵は新たに若き手に依つて握り締められたのである。

未來は青年のものである

水島潤三

序説

『無産青年よ、永き夢より覺めよ！』の警鐘は、日本の津々浦々にまで鳴り響いて、近來無産青年運動は勃然として擡頭した。然しながら無産青年運動は抑々何を目指して居るものであるか一般無産階級運動と如何なる關係にあるものであるか。無産青年運動の性質の明かでない以上其の運動は自然漠然たる性質を帶びて、運動本來の根本任務を逸し易い。吾々は先づ的確に無産青年運動の任務を知らなければならぬ。

無産青年運動は、一般無産階級運動の一部である。無産青年が無産階級の一部たる以上、其の解放のための運動が、無産階級運動の一部を構成することに何等の不思議はあり得ぬ。一般に無産階級運動が、其の解放戰に於いて、其の終局的の目的——無産階級革命——と、部分的の目的——日常の政治的、經濟的利益のための鬪爭——とを有するが如く、無産青年運動も亦終局的目的と、部分的目的とを持つて居る。隨つて此の場合吾々は兩者に終局的目的の一致を見ることを看過してはならぬ事實兩者は密接な交錯關係を有するものであつて、輔車唇齒と謂つたやうに、相互の協働によるの外は全體としての無産階級運動の成功は望まれぬ。

無産青年運動は、無産階級運動といふ全體のうちに於ける一部として之れを觀る時、其の活動領域は政治的方面に狹まく、一般無産青年の大衆の社會主義的敎育といふ敎育的方面に廣くなければならぬ。實際に於いて世界の無産青年運動は、孰れも成年無産階級の組織の政治的指導の下に、無産青年の廣汎なる大衆敎育を行なつて居る。ブルジョア的思想に毒されてゐることの尠い無産青年、社會の矛盾の感知に鋭敏な無産青年を敎化訓練して、之れを無産階級運動の戰線のうちに加へ、其の戰鬪力を增加することは、青年無産階級運動の使命である。

レーニンは『露西亞の青年に與ふ』といふ演說のうちで、一般無産青年運動の任務は『知るに在り』といふ一語で盡きると言つてゐる。然らば何を知るべきか。彼れは語を續けて『共産主義とは何か？』を知れと言ふ是れによつても吾々は、彼れが無産青年の敎育事業を如何に重視してゐるかを知る。

然しながら無産青年運動の任務は、單に是れのみに止まらぬ無産青年は其の年齡の關係上、無産階級の間に占める特殊な地位の關係上、其の運動の上に種々の重要な諸任務を持たなければならなかつた。以下逐次に之れを述べるであらう。

反軍國主義と無産青年運動

反軍國主義の運動は現在世界の無産青年運動の間に於いて、一つの重要なる任務となつて居る。是れは青年が年齡の上で軍國主義と特殊な關係を有するからであつて、無産階級運動の勢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

力を知らんがためには、其の國の反軍國主義運動の勢力を知るに如かずとさへ謂はれてゐるやうである。

一體軍國主義は、資本主義の發達が極致に達して、所謂帝國主義の段階を來たすと、其の隨伴現象として必然に現はれるものである。何故軍國主義が、帝國主義の必然の隨伴現象となるかと言ふと、帝國主義と言ふものは自國の財政資本(金融資本)を發展させ、其の生産物を販賣し、他國の勞働を搾取することを本來の性質とするものであるから、是れの實現のためには必ず其の後楯となる軍備が要る。從つて軍國主義が擡頭するのである。また軍國主義が頭を擡げるのは、たゞ此の帝國主義の對外政策のためばかりではなく、對内政策のためにも起こる。是れは何であらうか。國内の勞働階級の勃興が是れである。

帝國主義の支配する段階になるまで、資本主義が發達すれば勞働階級も亦た隨つて發達する勞働階級が發達すれば、其の多數團結の力によつて、ブルジョアジーに反逆し、資本主義の基礎を脅やかすやうになる。そこで斯かる反抗を抑壓するためにも亦た、ブルジョアジーが軍隊を要するのも當然である。斯やうに軍國主義は、對外的には他國の勞働を搾取する御用を勤め對内的には國内の勞働階級を抑壓するものである。

勞働階級は自己階級の解放のために、其の解放戰を戰つてゐる。然るに此の解放戰に於いて例へば一つの單なる經濟闘爭たる勞働爭議に於いてさへ、少しでも政治的性質を帶びて、資本主義の秩序に動搖を來たす恐れがあれば、何の情容赦もなく、軍國主義の威力で勞働者を叩き伏せる。そして此の道具たる軍隊は全部無産階級の子弟から成り立つてゐるのである。

軍國主義はまた、無産青年、就中青年勞働階級の子弟にして是れから階級意識を深め、階級戰の陣頭に立たうとする者を全部軍隊の中に入れて、特有の『軍人精神』によつて革命的精神を去勢し、現存秩序の謳歌者に教育する。そして無産青年の大衆を去勢し去つて、著しく革命運動の進展を妨害する。

それのみではなくて、更に軍國主義は在郷軍人團なるものを作つて、現役を終へた兵、後備兵を組織して、軍隊で教育した『軍人精神』を何時までも頭の中に叩き込ませて、無産階級運動から遠ざけやうとしてゐる。そして農村の如きは、此の三段に亘る軍事教育によつて完全に無産階級的精神を拔き去られんとしてゐる。

日本の軍國主義は、過般の軍備縮小によつて失ふ所を、國民の軍事教育によつて補はんとして、汲々日も維れ足らざる努力をしてゐる。そして偶々早稻田の騷動によつて、完全に其の馬脚を現はしてしまつた。然しこれにも懲りずして、反動團體と結んで、國民を軍國主義の奴隷化し去らんとしてゐる。經綸學盟、縱横倶樂部の御用振りは何うであるか。勃興の氣運を負うた吾々無産青年は、決して斯かる反動勢力のもがきの擒となつてはならぬ。

斯く觀じ來るとき、吾々は無産階級運動の陣列を攪亂し、無産階級の大衆から革命的氣勢を拔き去らんとする軍國主義に對して、寸時も手を束ねて居ることは出來ぬ。吾々が無産青年が斷乎として、反動的、資本主義的、軍國主義と闘はなければならぬことは勿論である。

經濟闘爭と無産青年運動

資本主義の支配下に於ける無産青年は、成年勞働者よりも更に甚だしい條件の下に於ける勞働に甘んじなければならぬ。成年勞働者の生活條件の劣惡な國に於いては、青年勞働者の勞働條件は更に言ふに堪へぬものである。

そこで單に此の勞働條件の改善といふ部分的の要求のためにのみでさへ、無産青年の運動は興起せざるを得ぬ。そして事實世界の諸國に於いては、勞働條件の改善のために無産青年運動が生まれた。然し無産青年運動の實際は、單なる勞働條件の改善のための闘爭でさへ、資本制度の根底に衝突せずしては得られぬものであることを經驗した。

蓋し人々は之れを指して單に闘爭の部分的方面と言ふけれども實際はその終局的方面と密接に關聯してゐるものであつて、何

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

処に其の境界を立てることも出來ぬ。隨つて無産青年は、勞働條件改善のための闘爭と雖も、常に直接に無産青年の解放戰と關聯してゐるものであつて、成年勞働者の組合運動と相提携してのみ初めて實現されるものであることを銘記しなければならぬ。

實際に於いて如何なる勞働條件のために闘爭と雖も、是れが眞劍化すれば、必然に政治的性質を帶び、終局には資本主義制度の基礎を成す或るものと衝突する。吾々が日常の經濟的闘爭を輕視してはならぬといふ所以は、實に此處に在る。無産階級革命は决して現實の闘爭を離れては來るものでない。そしてまた、現實の闘爭は勞働階級の勞働條件の改善、其の他日常の闘爭からのみ發生する。從つて吾々無産青年は飽くまで日常の經濟闘爭を尊重し、飽くまで闘爭を徹底させなければならぬ。

青年勞働階級の日常の經濟闘爭に於いて、成年勞働者と同一の賃銀、同一の勞働時間、同時に最低賃銀の確立は、ブルジヨアジーに對して何處までも之れを要求すべきである。何故かと言へば、低廉なる青少年の勞働があるために、失業者の數が續々と增大し、更には一般勞働階級の生活條件を惡化するからである。

經濟闘爭の方面に於ける無産青年の任務は、勞働組合の組織を促進せしめることである。勞働組合は勞働階級の闘爭的敎育を行ふ所である。無産青年運動は、此の闘爭敎育の豫備校として、一般無産青年を得て、之れを組合に送ることが其の使命でなければならぬ。

敎育事業と無産青年運動

敎育事業は、無産青年運動の甚だ重大なる任務として知られてゐる。元來青年、殊に無産青年の大衆は、ブルジヨアジーの敎育によつて、資本主義の制度を永久的のものと信じ、飽くまで現存の秩序を謳歌して、社會一切の矛盾に盲目であるやうに敎育されてゐる。斯かるブルジヨア敎育によつて中毒された無産青年は、遂に眼を開いて資本主義の矛盾を觀ることが出來ずして、搾取と支配と傳統の下に苦しい生活を續けて居る。

從つて無産青年の解放のための急務は、先づ無産青年の大衆から、斯かるブルジヨア的要素を拔き去ることに在る。元來青年は、成年乃至は老年者に比して社會的矛盾に對して敏感であり、またブルジヨア的偏見に毒されてゐることも比較的に少い無産青年の敎育事業は正に斯かる分子を其の對象として活動を開始しなければならぬ。

無産青年の敎育事業の主眼は無産青年の大衆にマルキシズムの敎義を敎へることであり、唯物史觀的觀察法を叩き込むことである。而かも此の敎育は、單に書物の上の敎育のみに止まつては、何等の意味を成さぬ。斯かる敎育は何處までも實際的にして、且つ闘爭的でなければならぬ。書物と實際とを隔離することは、ブルジヨア的敎育の最大なる惡弊である。ブルジヨアの敎育は、此の惡弊によつて浸徹され、書物萬能主義、書物の單なる機械的詰め込み主義に終つてゐた。そして單に之れによつて死せる智識、無用なる智識を蒐集してゐたのみに止まらずして、青年の大衆の獨創力を奪ひ去つて、之れを恐るべき暗記主義の奴隷とした。更に之れのみならず、彼的の個性の發展を殺して、之れを同一の鑄型の中に投げ込んだ。是れが個性發展の抑止ための敎育、單なる死せる智識のための敎育でなくて何であらう。無産青年のための敎育は、無産青年の努力によつて舊社會と異る社會、即ち所謂社會主義の社會を創設せんがための敎育でなければならぬ。

また無産青年の敎育は、餘りに事實と驅け離れてはならぬ。無産青年の日常の闘爭場裡に於ける利益を、社會主義の原理に照して之れを說明し、一切の日常の政治的問題を捉へて、之れを無産階級の立場から解剖し、以つて無産青年の大衆をして政治に興味を持たせることは、焦眉の急務である。

無産青年運動は斯く敎育事業を發展させることによつて、ブルジヨアジーの文化に代つて、無産階級の新文化を建設することに成功しなければならぬ。そして此の無産階級の新文化は、唯物史觀的世界觀の上に立つ無

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

產階級文化の華でなければならぬ。

無產青年の教育事業は更に進んで無產階級的道德の建設に成功する必要がある。斯かる道德は舊來のブルジョア的觀念を離れて、日常の闘爭塲裡から生まれて出るものでなくてはならぬ。無產階級の道德は、階級闘爭の必要に應じて作られるべきものである。從つて階級闘爭の必要のために團結し、闘爭することは、麗はしい無產階級道德の華である。

無產青年運動の一部たる教育事業は、また現在の如き學校經營の方法、及びブルジョアジーの子弟にのみの教育的特權に對して闘はなければならぬ。事實現在の教育は、ブルジョアジーの教育であつて、無產階級の子弟は、如何なる天才を抱くものであつても、教育を受ける機會を得ることが出來ぬ。隨つて現在に於ける無產青年運動は、教育のブルジョア的獨占に反對して、無產青年の大衆に對する教育の機會均等を要求すると同時に、此の無料教育を實現せしめなければならぬ。

無產青年の階級意識の抱懷に恐れたブルジョアジーは、近年頻りに運動熱を鼓吹して、間接的に之れが緩和を圖らんとしてゐる。無產青年は、ブルジョア的遊戯に對しては、無產階級的遊戯を以て對立し、彼等の奸計に乘せられるの愚を爲してはならぬ。

農村運動と無產青年

運動

資本主義の下に於いては、農村は二重の搾取を受ける。隨つて農村に於ける小作人の地位は苦しいものである。けれども無產階級の勝利は、農村無產階級――小作人――と、都會の工塲勞働者との完全な共同戰線によつてのみ實現される。

元來農村は多くの塲合に於いて保守的である。是れは代々父祖の業を襲ぎ、中には封建的生產樣式を踏襲してゐるものさへあることを考へれば、或は當然かと考へられる。けれども吾々は斯かる說明に滿足して手を拱ねて居ることは出來ぬ。斯かる狀勢の下に在る農村は動もすれば反動分子の乘ずる所となり易いからである。

斯くの如き狀態の下にある農村の無產青年の任務は頗る重大である。彼等は眠れる同胞を振ひ興こして、新興の氣運を負うて立つ無產階級運動の陣列に投せしめなければならぬ。彼れ等は亦、農村無產階級の利益が決して都市の無產階級の利益と相反するものでないことを訓へなければならぬ。斯く觀る時、農村無產青年は、階級戰の陣列の編成に重要な役割を果たすものである。

農村の青年は、資本主義の中心をなす家族制度の犧牲となり封建的戶主制の下に行動の自由を束縛されてゐる。農村無產青年運動の勃興のためには、先づ此の戶主制度の撤廢は眼前の急務である。

農村は其の性質上、在鄉軍人團、御用青年團、其の他反動勢力の好んで巢ふ所であり、現に彼れ等は、吾が農村に根を卸して、無產階級の革命運動を縊らんとしてゐる。此の反動勢力を徹底的に掃蕩するか否かは、無產階級運動の全體に係はる。吾が農村無產青年の任務は亦た重大である。

武器と玩具

松並　齊

戰に必要なものは相手を擊つ武器である。安逸に必要なものは、人心を和げる玩具である。然しながらある時代には、一つのものが二つの役目を兼ねることが出來る。だが前者には常に冷靜なる理智の影に隱るゝ鐵火があり、後者は常に放心の間をさまよふ好奇心がある。この精神によつて武器と玩具は區別せらる。

我等民衆は科學を以つて唯一の武器として、資本家階級の矛盾を摘發し、來るべき理想を建設する。ブルジョア流の學者は等しい科學に沒頭しながらも、玩具の如く、それを打ち碎いてしまふまで、いぢり盡されば止まない。それ故に科學は吾々に取つては武器であるのだが、ブルジョア亞流に取つては單なる玩具である。

武器の使用には細心の注意と、絕大なる果斷さを要する。然るに玩具を弄するとき塲當りの出鱈目がなくては興味が湧かない。この意味に於いて我々は武器として科學を支持せんが爲に戰ふ。單なるマルキズムの研究者、ボルシエヴイズムの研究者は、この意味ある武器から離れて玩具に熱中する小兒の心理に陷するものとして我々の戰線から放逐する。

科學は眞理の討究である以上、不眞理の世界から眞理を抽出せんとする無產階級の心理を有せずして科學を究めることは不可能である。かくの如き望には神聖なるべき科學も遂に玩具の用をなすのみ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一線に立つ使命

羽生三七

一

勞働運動、農民運動は、其の本來の意義からしても、當面の經濟闘爭がその主力である。それに比較する時、青年運動は多分に違つた色彩をもつてゐると思ふ。

勿論、青年運動は全無産階級運動の一部分である。從つて本質的には他の運動と何等異る所がない。唯それ〲が持つ役割に相違點があると思ふ。

青年運動の主力が經濟闘爭でないことは勿論だ。其の本來の職分は、階級的自覺を持つた青年が他の一般無産青年大衆に對して階級意識を注入し、更にこれが糾合と組織を計つて、積極的に無産階級解放運動に押し進める所にあると思ふ。即ち階級意識に眼覺めた青年が、他の無産青年大衆に思想的覺醒を促すと同時に、更に自ら進んで傳統的觀念の強く支配する農村にあつては、農村無産階級に無産階級運動の意義を徹底せしめるにある。

二

同じ青年運動にあつても、都市と農村には餘程大きな相異點があると思ふ。

都市に於ては最も、ブルジヨア心理に侵害されてゐる一般商人の子弟を糾合することが目的でないとすれば、その目標は工場勞働青年にある。

然しながら、其處には既に組織化された勞働組合がある。斯く組織化された勞働組合の内部に新たに青年勞働者の集團を組織すると云ふことは勞働組合運動の力の分散を生ずるやうなことはないだらうか。

斯うした都會から農村に眼を轉ずる時、其處には亦異つた力を見出すことが出來る。

官僚の手に依つて組織化された青年團は、村から郡へ、郡から縣へ、縣は更に全國的に官僚の獨裁を受けて中央集權的に組織化されてゐる。而して其の重心が農村にあることは事實だ。斯かる青年團を指導するものは村にあつては村長、校長等であり郡にあつては郡長亦は何々の肩書き附きである。斯うした青年團が日常の行動は、軍事教練官僚的?講習會、祭典の馬鹿騒ぎ等で一貫してゐる。

此の、國家に熱誠を捧げて止まぬ所の官僚的青年團の一角が突如として崩潰の芽生えを現はし始めた、其の瞬間から無産青年運動が始まつた。

斯く官僚に依つて組織化されてゐる所の既成青年會員に、階級意識を注入し、その組織化されてゐる大なる力を無産階級運動に方向轉換せしめる所に、農村無産青年運動の意義の大部分があると思ふ。

青年それ自體を運動の對象とする場合に於ては、都市にあつてはその目標が工場勞働青年にあるが、農村にあつては、その各人が有する生產條件に依つてゞはなく、地域的に組織化されてゐる「既成青年會」の方向轉換がその目標となつてくる。

更に亦、工場勞働青年、小作人階級の青年以外の種々雜多な分子——小商人、屋外勞働者、その他多種多樣なるペチ・ブルジヨア階級の青年——を糾合し亦どの程度まで解放戰の陣列に拉致し來り得るかと云ふ問題も此の地域的に組織化されてゐる青年團に依つてのみ可能であると信ずる。

三

階級意識に眼覺めた少數無産青年の職分の一が、既成の官僚的青年會の方向をして××的たらしめるにあることは既にのべたが、その方向轉換がどんな形をとるかを考へなければならぬ。

異つた生產機關の從屬者、異つた心理の所有者、斯うした立場を立場とする既成青年團が、直ちに××的な思想を受け入るゝことの如何に困難であるかは自明の理である。

「青年會の中に在つて青年會を乘つ取れ」とはよく云はれる言葉だ、これは如何にも抽象的には肯定し得られるが、實際問題として果して可能か否かと云ふ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことが重要である。

それは唯、次に述べる二三の問題を透してのみ可能であると考へられる。

我々の運動は少數の者が既成青年會と對立して、青年會そのものを破壞することではない。要は既成青年會員が抱く觀念を破壞することであつて、組織化されたその形體を破壞することではない。

然し組織を破壞するにも(此の場合には觀念)組織が必要である。何等の組織も連絡もない少數の個人が、一般青年大衆の中に在つて如何に方向轉換を高唱してもその力は微弱だ。

其處で階級意識に眼覺めた少數者に依る『新興無産青年團』の組織が必要になつてくる。此の組織が實現されてこそ、其の運動は具體化し、統一化され、そして其處に於て成される一切の方針が既成青年會に對する、自覺した青年各自の一致した態度となつてこそ、其の時にのみ始めて力ある運動となるであらう。

其處で新興青年團の運動は、新興青年團それ自體は××的であつても、既成青年會に對しては、勢ひ啓蒙運動程度のものであることをまぬがれぬ。然し既成青年會員にしろ、その大多數はプロレタリアである。そしてそれは×××なる必然性をもつてゐる。要は時間の問題である此の啓蒙運動を押し進めて××的たらしむるも、即ち既成青年團が方向轉換の能否もかゝつて新興無産青年の努力と發展如何にある。

四

無産青年運動の職分の一が、自覺した青年に依る、他の一般無産青年大衆に對する教育運動にあるが、更に自覺した無産青年は、日常の利害關係を一般無産者大衆に明示すると共に、小作人運動の如きものを、當の經濟鬪爭から、政治的に自覺せしむべく努力しなければならないこれは、一般青年大衆に對すると共に、因習の強く支配する農村に於ける、自覺した青年の任務である。

一般無産青年大衆に對する教育運動の他方、自發せる無産青年は、無産階級運動の陣營に於ける建設事業(?)に從事しなければならぬ。即ち先にのべた如く、農村無産階級の、當面の經濟鬪爭をして政治鬪爭に進展せしめること、經濟狀態の調査、更に重要なことは「青年に依る補習教習の管理」權を獲得しなければならぬ。これは教育機關の總てがブルジョア階級に獨占されてゐる今日の社會に於ける唯一の可能な無産階級教育機關と變するとが出來る。もつとも此等の運動が直接的にも、間接的にも無産青年大衆に對する教育運動となることは事實だ。

無産階級政治運動の盛んに論議されてゐる今日、我々はこゝに於ても青年運動の一職分を見出すことが出來る。勞働運動、農民運動が、當面の經濟的勝利に主力を注ぐ時、經濟關係の直接支配を比較的少く蒙つてゐる青年は、現代社會組織の構成を見極めるべく迅速である。他方青年が直接經濟關係に立脚してゐない所に、其の危險性がないでもないが、常に問題とされてゐる、都市無産階級と農村無産階級との對立が、直接經濟關係に立脚してゐない青年の運動に依つて、或る程度の握手が可能ではないだらうか。

無産階級が當面の經濟鬪爭を支配關係の變更にまで押し進むべく、都市に於ても農村に於ても、青年は無産者大衆の中にあつて、かくれたる役割を遂行することが重要であると思ふ。

青年の力は大である。然りといへども廣く全國を見渡した時青年は未だ大部分(殆んど全部)官僚の獨裁下にあつて、舊い因習と傳統的觀念に息づいてゐる近時、新聞は種々なる反動團體の出現を報じてゐる。かゝる反動團體が歷史への逆行であつて恐るゝに足らぬといへども、それが發展が無産階級運動の一障害となることは事實だ。

眠れる青年を搖り動かさねばならぬ。然らずんば彼等反動團體が先んずるであらう。我等は益々青年運動の急務を痛感するのである。

先生と生徒

先生　皆さんは國家の爲に死ぬのです。

生徒　死んでも年取つたお母さんやお父さんはおまんまが食べられますか。

先生　おまんまなんか卑しいことです國家はだからおまんまを取上げたのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

青年の血は赤い

徳田球一

一

資本主義制度即ちブルヂョア階級の支配の下では總ての制度はブルヂョア階級の支配を維持する爲めの手段方法である。

青年はその將來に於ける社會の支持者としてその社會の共同の負擔に於て教育せらるゝ特權を有つて居る。然るに資本主義制度の下に於ける教育は各個人に大部分の負擔を課する、それで無產階級青年は充分なる教育を受けることが不可能である。

無產階級は彼等の支配の下に生產機關に從屬せしめらるゝが故に無產階級青年の教育はその從屬性に支配せらるゝ。無產階級青年に課さるゝ教育は生產機關の附屬物として役立てる範圍に極限せらるゝ。

見よ！無產階級青年は工場に農場に役立つ時彼等は奴隸的勞働の鐵鎖を以て縛りつけるではないか。斯くして無產階級青年は將來の生產機關の從屬物としての被教育特權ゝを有するのである。

二

青年は青年なるが故に成年勞働者と同一の勞働能率を有つて居ても低率の賃銀を與へられる。資本主義の旺盛即ち生產機關の發達に伴つて勞働は熟練を要せなくなる。

その時青年は低廉の賃銀を以て有力なる勞働豫備軍に編入せらるゝ。そして勞働市場に於て成年たる父兄と競爭させられ父兄の職場を奪ひ、父兄をして失業の慘劇に泣かしめねばならぬ。

青年は發育すべき時期にあるに拘らず成年勞働と同一時間若しくはより以上の勞働を强制せらるゝ、斯くして無產階級青年は資本主義制度に發育すべき時期を奴隸の境遇に心も血も搾取せらるゝのである。

三

二つの階級即ち支配階級と被支配階級とが對立する時、支配階級の支配力は權力によつて維持せらるゝ、權力は合法化された物理力——暴力——である。

その物理力を何れに求めるかは經濟組織の變遷即ち社會制度の如何によつて異なる。資本主義制度に於ては國家の名の下に於て——その國家とは國民生活の最高の道德と云ふ假面を被つた支配階級の權力を維持する最高の機關である——全國民に負擔されられる。わけて重き負擔を荷はされるのは青年である。

資本主義の教育制度に盲目的服從を愛國心の美名の下に敎へ込まれた青年はそれまで社會の慘酷なる矛盾に醒めない內更に熔鑛爐の如き兵營の中に追ひ込まれ、資本主義の支配力の爲めにまたその侵略性の發現たる帝國主義の肉彈となることを强制せらるゝのである。

資本主義は內に權力を維持する爲めに大なる物理力——軍隊を有せねばならないが、やがてその發達は必然的に外國を侵略せずばやまないのである。その時に於ける無產階級青年は層一

農民運動の思想化

森崎生

農民組合は借地の競爭防止、小作料の讓貸防止のために出つたものであるが無產階級の發達するに連つて、今や階級鬪爭の手段として日本全國に組織せられ日本全國の津々浦々は小作爭議の烽火に包まれて地主階級を震駭せしめて居る。勞働組合、小作組合は資本主義の發達と共に發達して支配階級に對する鬪爭機關より進んで新社會組織の基礎的要素となるものである。故に勞働組合も小作組合も、その起原に於ては當然各個別々に發達するものであるけれども、その戰鬪力を增大し新社會に於ける生產狀態を圓滑ならしむるために各組合の組織化が必要である。

日本農民組合は創立以來未だ二ヶ年に滿たないが、關東に於ても關西に於ても最早無產階級運動上に於ける一大勢力を形勢するに至つた。然し乍ら農民自身の手で十數年も以前から組合運動が發達して來た岐阜、愛知、靜岡、を始め埼玉山梨、富山、兵庫の縣下には無數の小組合が網の目の樣に點綴せられて居るにかゝはらず全日本的に發達し組織化しないのは如何なる理由に由るものであるか。

又、小作人の政治運動を見るに一昨年は村會議員の村會乘取り運動に成功し、今年は村農會の乘取り運動に成功した所が多々ある。然るに郡農會の形勢を見るに未だ官僚又は地主の勢力を全然排除し得ない狀態にあるし、今秋行はれんとする縣會議員の選擧には充分なる見込が

屠多大の犧牲を軍隊として拂ねばならないのである。斯くして資本主義の毒牙は軍國主義となり帝國主義となつて無產階級青年の肉と骨とをしやぶり盡さねばやまないのである。

四

無產階級青年は永久にその資本主義の苛酷な負擔を負ひ、確然たる事實に當面して醒めないで居らるゝものではない。一度無產階級青年がその事實を凝視めて階級的意識に醒めたる時、何をなすべきか？

青年は敎育の場所として學校を持つ。勞働の場所として工場と農場とを持つ、また資本主義の毒牙として訓練を受くる場所として軍隊を持つ。

無產階級青年は學校に於て被敎育の特權を主張せねばならぬ。工場に於て心身の發育を保證され、成年勞働者と同一の賃銀を得ることを主張せねばならぬ。農場に於て小作人運動に參加し地主の暴虐なる誅求と戰はねばならぬ。軍隊に於て兵卒をして無產階級意識に醒めしめブルヂョアの毒牙たることを拒絶しなければならぬ。

青年の血は赤い。青年の觸感は鋭敏である。青年は舊き因習と生活の桎梏に壓しつぶされたる因循を持たない。青年は勇氣と新しき知識とを持つて居る。

青年はその特質を以て學校に工場に、農村に、軍隊に總て階級鬪爭の存する所に勇敢に戰はねばならぬ。

勞働組合と小作人組合に於ては殊にその前衞となり老ひたる組合員をして、止まらんとする組合をして常に前進せしめねばならぬ。そして彼等をして眞に階級意識に醒めしめ革命的本流に導かねばならぬ。

〜學校と軍隊は農村と都會との機會多き接觸の場所である。そして實に農村と都會との無座階級の共通目的を自覺せしむる最適當の場所である。青年はこゝに農村と都會との共同の戰線を張るべき準備を整へねばならぬ。そして利害相反するが如く見ゆる幻覺から醒めて更に經濟的場面に於ても共同の陣列を敷くべきである。

六

資本主義は今や最後の發達階段に到達して居る。ヴルサイユ會議は積り積つて帝國主義の暴虐の第一回の決算をする爲めに獲物の分配を始めた。然しそれは平和を齎したのではなくて第二回の決算をなすべき大戰の萌芽であつた。各國のブルヂョアジーは大戰の準備に忙殺されねばならなかつた。然し彼等は疲れて居るそれでワシントン會議で骨休めをしやうとしたが內心鬱積した不安は彼等を靜止せしめて置かない。それで彼等は在鄉軍人會と青年團と處女會に於て大規模の帝國主義宣傳を始めた。これ等官製諸團體は無產階級青年を去勢して帝國主義の走狗たらしむる任務を果さんとして居る彼等は未だそれのみに止まらない更に一層規模を大に、組織を精巧にして民衆を軍隊化さんとして居る。

無產階級青年よ！彼等ブルヂョア階級が資本主義崩壞の斷末期に際して狂犬的暴虐を敢行せんとする時！その時こそは吾吾の最も力強く鬪ふべき時である。吾々の漕ぎ付くべき彼岸は見えて居る。

ないらしい。小作組合の勢力の上に立つて議會に地主の強慾振りと鬪爭し、又これまでの議會が如何に地主階級の牙城の中心であつたことを暴露する位のことは何でもないことであるが、實力を充分持ちながら立候補に遠慮しつゝあるものが多數にあるらしい。

かくの如く、組合運動も政治運動も充分なる進歩をなし得ないのは如何なる理由に基くものであるか、日本の小作人には最早充分なる階級意識はあるが過去に於ける社會運動の本統とかけ離れて居たがためにその階級意識は理想を缺き組織を缺いて居るために順調な發達をなし得なかつたのは實に遺憾の極みである。近代思想の直接の影響を受けずして小作人の運動がこれ迄發達して來た所を見れば日本の小作人は特に優秀な素質を有するが如くに感ぜられる。ブルジョアにブルジョアの學問がある樣にプロレタリアにはプロレタリアの學問がある。農民の運動に力と組織とを支へるものは即ちこのプロレタリアの學問＝思想運動である我が國の農村は現在極度に思想を慾求して居るし、慾求のまに〱思想を與へ得るならば一段の活躍をなし得るであらう。農村に一般的な思想の宣傳が行はれた時、眞の無產階級運動が起＝鬪爭はいよ〱白熱化して來る。

組合運動を助成し政治運動を完成する準備として我が國の農村に於ては當分特に思想運動の必要を認める。而してこの思想運動の中心をなすものは青年なるが故に青年の使命は一層重且つ大なるものがある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

失業問題の解決者

川内唯彦

一

目下全世界に亘つて起りつゝある失業問題は革命的勞働團體特に共産主義青年にとつて最も重要な問題である。資本主義は今や斷末魔にある、何となれば背て現在程失業者の群が現出した事はない。

改良主義者は失業者運動の革命的性質をよく知つてゐるが故に、敢て進んで解決の衝に當らうとしない。

然し乍ら反動的ブルヂョアジー――第一にファスシズム――は失業者の上に勢力を擴大せんが爲に全力を盡して此の方面の活動に從事してゐる。

ファスシズムの特質は只に武力に依つて反革命的行動をとる事にのみ止らず、一種の社會的奸策を行つて農民及び勞働者の一部に勢力を得んとするところにある。事實伊太利のムッソリニー一派が政權を獲得し得た主要原因の一つは、大戰後の週期的經濟恐慌の到來に際して、勞働者、農民、インテリゲンチャが絶望的悲境に沈んでゐた時、伊太利の共産黨、及び社會黨が拱手傍觀、何等爲し得なかつた虚に乘じ、ファスシストが曲りなりにも一定のプログラムを掲げ此等の不平分子を利用した點にある。

故に失業者をして吾々の陣營に投せしむるか、或は敵の戰列に走らしむるかは吾々の將來の運動發展に重要な關係を有する吾々は失業勞働大衆を組織し、階級戰の旗幟の下に、衰頽に傾いた資本主義の本壘に突進しなければならぬ。

大戰後失業の不安の繼續は數年に亘つた、然し乍ら今に到る迄何等改善されたところはない

亞米利加、英國は勿論、墺太利、チェック、スロヴク等の國に於ては失業者の増加は壓倒的となつて來た。

佛蘭西は盗賊的侵略戰爭の結果たる經濟的荒廢を獨逸に轉化せんとし、武力に依つてルールを占領し石炭を掠奪しつゝある其の結果獨逸内には夥しき失業者を生じ、暴動の脅威、内亂勃發の憂は占領地帶を包み、共産黨の活躍は層一層活氣を呈して來た。

瑞西に於ては一九二三年一月只一回のロックアウトに依つて六萬三千人が街上に放り出された。

二

ソビエト露西亞以外の國で國家に依つて失業者に援助を與えてゐる國は獨逸、英國、墺太利瑞西、伊太利である。然し此等の國の國家の援助もほんの僅かの間だけで失業者の大多數は何等の確固たる保證を受けてゐない。例へば伊太利に於ては立派な失業者救濟法が存在してゐるが、未だ嘗て充分に實行された事を聞かない。

一九二二年には五十四萬二千の失業者があつた、此の中七萬二千のみは法律に依り援助を受けたが、殘りの四十二萬六千は何等の援助を受けなかつた。

其の當時より見れば、勿論狀態は惡化してゐる。

『民主的』獨逸に於ても何等變るところはない、一九二二年十一月末、ベルリンは三萬八千二百八十七人の失業者があつたが、此のうちで政府の保護を受けたものは二千三百四十一人即ち全體の六パーセントに過ぎなかつた。

失業青年勞働者の狀態は一層悲慘である。何となれば、多くの場合、青年は一般に援助を受けない、又受けるとしても、最少限度である。

墺太利に於ては青年勞働者に對して直接に不利益な條件が設けられた。十六歳迄の失業勞働者及び總ての徒弟には國家の保護がなくなつた。

かくの如き狀態の下に吾々青年の當面する問題は何であらうか。

吾々は失業問題に從來より一層の注意を拂ひ、失業青年勞働者の鬪爭に全力を盡さねばならぬ。

青年インタナショナル第三回大會に依つて決定された此の鬪

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

爭に於ける要求は次の如きものである。

(一)失業せる青年勞働者及び成年勞働者に對する同等の國家保護の要求、

(二)失業勞働者に對する最少限度の保護としての最低生活費の要求、

(三)失業勞働者を義務的に國家及び個人の職工學校に入るゝ事、青年に對する職業教育の保證、

此の外青年運動の主要目標として勞働時間の延長賃金減額に對する反對運動のある事は論を待たぬ。

其の外あらゆる鬪爭に於けると同じく此等の要求を貫徹さす爲には勞働青年は協同戰線の戰術を以て對抗しなければならぬ失業に對する要求の鬪は又失業勞働大衆に向つて鬪爭の必要上生産管理權の避くべからざる事を明瞭に教示する爲に利用せられなければならぬ。

三

ソビエト露西亞――勞働者が壓倒的勢力を有する唯一の國――に於ては失業勞働青年の爲には特に救濟手段を講じてゐる。例へば工場内には一定率の空席があつて勞働青年の爲に保存されてある。其外、完全な救濟設備があり、多數の職業學校があつて其處で失業勞働者が教育を受けてゐる。

ソビエト露西亞の現在は過渡期である。舊制度より新制度への移轉には幾多の困難がある。それに拘らず失業勞働者に對する施設は成功を示してゐる。

現在世界各國には失業者委員會が存在してゐるが、此等の團體は革命的色彩が濃厚である。其の中に最も戰闘的な分子は勿論青年勞働者である。

何れの國に於ても第一に資本家に依つて街上に放り出される青年勞働者の多數は最も階級意識に目覺めた革命的傾向を持つた者である。故に共産主義的青年の陣列に失業青年勞働者を引き寄せる爲には特に力を注ぐべきである。

關東車輪工組合の罷業と勞働階級

藤原榮次郎

吾等は勞働組合運動の開闢以來今度の關東鐵工組合本所支部對關東車輛工組合の如き同盟罷業は且つて見たことがなかつた。凡そストライキなるものは謂ふまでもなく勞働階級の資本家に對する挑戰の最大武器でありまたそれのみに使用する最後の手段である。然るに關東鐵工組合本所支部對關東車輛工組合の罷業は大同團結して事に當らねばならぬ今日、合同を妨げ諍爭を攪亂し終には同一階級たる兄弟の馘首を資本家に願ひ、運動を蹂躙しブルジョアをして微笑ましめ『さあ此の騒ぎに組合をブツ、ブしてくれ』と謂はんばかりの好機會を與へるとは階級道德に缺けた奴と謂ふより寧ろブルジョアの忠犬――反動團體と謂はねばならぬ。

由來汽車會社には關東車輛工組合と誠睦會との二組合が有つて五月十五日車輛工組合より水上外二名の者が渡邊君に對して合同を申込んで來た。誠睦會は無條件之れに賛成し五月十九日兩組合委員のみが臨席する約束であつたそれにも拘らず同日會場では委員入場の際多數車輛工組合員に打混つて機械組合會の者が闖入し渡邊政之助氏が經過報告をなして誠睦會が車輛工と合同するに至つた旨を述ぶるや闖入者等は他組合の總會なるに拘らず合同にあらず、提携と呼號して議事を攪亂し、遂に解散のやむなきに至らしめ異議を唱へるなぞの狂態を演じた。誠睦會は到底合同の不可能なるを知つて自己と主張を同じうする關東鐵工組合に加盟して本所支部を設立した。

之れを知つた車輛工組合は大いに狼狽し誠睦會員に暴行を加ふるのみならず同月廿一日亂暴にも同會の安藤向井の兩君馘首の要求を會社に出した。會社は安藤向井兩君を解雇せずかへつて車輛組合の幹部十七名を馘首した。同じ仲間を排斥し自己の組合利己心を滿足さす事に血迷つて騒いだ車輛工幹部十七名を解雇したそれで彼等は純勞働者組合に集合し此の問題について明日よりストライキを決行するや否やを協議した。車輛工組合員は同じ兄弟である前記二名を排斥する爲めのストライキはやれないとて滿場一致ストライキに反對した。只だ之れを主張した者は階級道德を無視し合同を破壊し機械組合會と手を取つて弄策を用ひし醜惡なる小數幹部のみであつた。

日本勞働總同盟關東鐵工組合本所支部は如何に横暴非道にして勞働運動を毒する奴であると謂へ共も同一利害の上に立つ階級的兄弟の義務を重んじ安藤向井兩君の排斥をせれば何時でも會社に對し右十七名馘首の理由を只だ飽まで復職を期する旨を公表した。然るに彼等は全く根も葉も無き虚報を製造し善良なる組合員を煽動し陋策を用ひて今尚罷業を續けつゝあり。

諸君よ!

同粹會大和民勞會及び其の他ブルジョアの御用を務める學者共は只だ金の爲めのみに働らくに過ぎず。其れに反して機械組合及び車輛工組合の小數幹部は共同戰の陣列内に於て吾等無産階級運動を攪亂し暴害しブルジョアの好餌食にせんとする恐る可き反動團體である。故に我等は先ず陣列を改め斯の如き反動團體を撲滅的に糺彈せねばならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

内外の青年運動

自由青年聯盟の成立まで

羽生三七

一

下伊那の青年の思想は、多く文藝的であり、宗教的であり哲學的であつた。然しながら彼等は資本主義の崩潰とそれに代るべき新社會に對して熱烈なる希望と憧憬を持つてゐた。彼等は此の現代社會の矛盾と缺陷とが何に基因してゐるか覺らなかつた。彼等はそれが社會組織そのものに内在する根本的な缺陷にあることを理解し得なかつた。

斯うした青年の思想は次第に當然の徑路として最も近きものに働きはじめた。

その火の手の現はれが、大正十年二月に於ける、既成の官僚的青年會の破壞と、自主的青年會の確立と云ふ革命であつた。

改造の其の日まで、いづこの縣にも見られるやうに、我が下伊那郡の青年會は郡長を會長に戴くの光榮を有してゐた。然し幾里の山路を走つて、大會々場に集まる千數百名の青年達は、口々に既成青年會の破壞と新たなる青年會の樹立を絶叫し、青年會は純然たる青年それ自身のものとして行かうとした。然し彼等の理想とその實際生活との間には越ゆべからざる深い限界があつた。彼等の理想はこゝごとに深い幻滅に導かれて行つた。そして彷徨と摸索の一時期が始まつたのである。

郡青年會が改造後再び其の目標に幻滅を感じ、既にその青年大衆の中の急進分子は、確固たる現實に立脚した思想の上に、その活動の地位を求むべく努力した。此の現はれが自由青年聯盟の創立であつたのだ。藝術や宗教に、貧しい生活の慰安を求めた青年に、新しい、生甲斐のある、確乎たる目標が示された

二

官能的、廢頽的な既成青年會中に發達して、純然たる無産階級の立場から、經濟上、社會上政治上の諸問題に對して積極的の行動に出づるとの宣言を掲げた信州自由年年聯盟が發會式を擧げたのは昨年の九月二十四日であつた。

郡青年會中から斯かる無産階級分子に依る青年團の組織を見るまでには、やはりその過渡期として、下伊那郡青年會は、一の歷史的意義をもつてゐる。

我が下伊那郡の青年會は他府縣に一歩先んじて、既に此の以前から、既成の官僚的青年會を破壞し、純然たる青年それ自身の自主的青年會を確立した基礎の上に立つてゐた。官僚を青年會から放逐した郡青年會は新しい、ブルジョア自由主義の立場から、講演會、講習會等に奔走した。招かれた講師には、野村隈畔あり、伊藤證眞あるかと思へば、鈴木文治あり、赤松克麿あつた。その立場は彼等が掲げる宣言の如く、單なる觀念上の自由主義にとゞまつた。

確乎たる目標を持ち得ざる青年大衆の中から、確乎たる現實的な立場の青年が新しい使命を高く掲げて生まれたのが、自由青年聯盟であつたのだ。そして官僚から逃れた郡青年會に對してもブルジョア自由主義であると否定した。そしてそれを生むにはやはり一つの中核があつたのである。

自由青年聯盟が、團體として生れる以前、十數名の青年は長く社會主義の理論と實際を研究してゐた。そしてその理論の實際化の爲の現はれが、團體化された自由青年聯盟であつたのだ。

三

その中に單なる研究的態度を捨てゝこの一團の青年は、自由青年聯盟組織の檄文を飛ばした。そして即時參加を申込んだ青年の數は百數十名に達した。

然し其處には單なる自由の名に憧憬する官能的な精神主義者が多分に混合されてゐたことは事實である。發會式當日參加した青年は數十名であつたが、口

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

く々に無産階級社會の實現を絶叫した。

『本聯盟は新興階級の歷史的使命の遂行を期す』の宣言を掲げて、我々は一直線に青年大衆の中へ割り込んだ。こゝに斷つて置かねばならぬことは、我々の青年會は、既成の郡青年會を破壞して新たに組織されたのではない。其處には尙我々と別個に七千名の會員を有する郡青年會が存在するのだ。

最初聯盟の行動は郡青年會に反逆するかに見えた。郡青年會と對立するかに見えた。然し我々の宣言は更に言ふ。

『本聯盟の目的を遂行する爲めに既成青年會員の思想の方向轉換をもつて當面の問題とする』我々の目的は此の綱領に依つて新たなる同志を得ると共に更にその力をもつて大多數の一般青年會員の思想の方向轉換を遂行することにあつたのだ。

四

十月十七日、自由青年聯盟は『大衆の中へ』の第一步を踏み入れ其の要望を獲得した。それは當時我地に於て問題となつてゐた上郷村電問題を促して之を批判し、ブルジョア電氣會社の横暴を村民大衆に聲明するにあつた。

當時、郡青年會は、自由青年聯盟等の出現に依つて、既に微弱ながら方向轉換の傾向を表はしてゐた。此の郡青年會主催、自由青年聯盟後援のもとに、上郷村電問題批判演說會は飯田町の劇場で開かれ、斯くて此の演說會後の懇親會の席上で提唱された『横暴なる電氣會社に對して我々は全郡の需要者組合をもつて對抗すべし』の一言が、南信壯年團員の力に依つて着々實行せられ、十二月中旬に其の發會式が擧げられた。

斯うした實際運動と共に智識開發の方面に於ても我々は努力した。十二月中旬には、鈴木、猪俣二氏に依つて三日間講習會が開催された。其の他、パンフレット・リーフレットに依る宣傳は勿論である。

一月十四日、聯盟はリープクネヒトの記念に總會を開催し、會するもの八十餘名。總會は同時に過激法案反對を決議した。

更に二月十一日には、自由青年聯盟、南信壯年團、下伊那郡青年會・下伊那記者團、印刷從業員組合、別に天龍勞働團、相合同して、大小百數十本の旗を高く掲げ、民衆歌高らかに『過激法案反對、普選促進』の示威運動を行つた、演說會は聽衆三千餘名、過法反對の決議は全國の同志團體等に送つた。普選に聯盟の名を加へたのは、過法反對を他の諸團體に遂行させる交換條件であつたのだ。

五

自由青年聯盟が社會的一大勢力となると同時に、其處には猛烈な反動運動が起つた。警察は勿論、下伊那郡軍人分會の赤化防止決議、新聞紙の總攻擊、印刷所封鎖、村有力者の干涉等で腰の弱い連中は奪取されて行つた。そして頻々たる逃避者があつたにも關はらず、何故聯盟は亡びなかつた。各村に散在する同志がそれぞれ小團體を組織し常に本部の首腦團體と密接な關係を保つて、區分された小團體がそれぞれ研究會や討論會を開いた。

如上の反動運動に依つて、幾分可能となつた郡青年會との共同戰線も潰れた。しかし純化された運動は力強く第二期へ進むと共に、反動運動が如何に暴慢であらうとも、青年大衆に植えられた此の力は牢乎として拔くことは出來ない。

六

由來一般に深い傳統に息づいてゐるのは青年大衆である。此の保守的、傳統的觀念を巧妙に取扱つた、官僚とブルジョアに依つて青年團は全國的に組織化されてゐる。我々は全國の青年團をして、方向轉換を遂行せしめ得るや否やは社會××に於ける重要な一事實と認める。故に後から後からと、××的無產青年の集團の組織される日でこそ我等が輝しい勝利の日である。（完）

羽生君に會つた瞬間、まるで大人のやうな感じを受けた。落付のある態度思慮深い言葉。山川さん西君と同じタイプの人だなと印象された。

自由青年聯盟の人達は、皆揃つて偉い、その上皆んなショウダンが旨い兎に角あの山の中に、大變な一群が現はれたものである。

M・L會の活動

藤岡淳吉

一

今から約一ヶ年以前、丁度昨年の今頃だつたと思ふ。目下獄中に在る堺利彦老が、仲曾根、川内、渥田、藤岡君等十數名の青年を集めてレーニンの『國家と革命』の講習會を開いた事がある。その集會が即ち今のM・L會の萠芽であつた。

堺老が、その獨特の禿頭を北光に反射させながら熱心に講話した『國家と革命』は非常な効果を穫めて無事に終り、更らに何かを始めようとした時に、此の集會に一つの大きな問題が起つた。それは、今後この會を一新して名實共に備つた思想團體にするか、或は從前の如き單なる無名の純研究會でやつて行くかの問題であつた。或者は前者を主張し、或者は後者を主張した。が、結局理論のための理論や、室内の思想的遊戲に耽る事は我等の斷じて採るべき所でない。我等は須らく民衆の前衛となつて無産階級解放の實際運動に參加せねばならぬといふが如き、實行派の絶對多數を以つて壓倒的に前者が可決された。

そこで、此の集會は元々マルキシズムの敎義を奉ずる無産青年の集りだつたので、彼れの頭文字と、更らに實際的社會主義の開祖ニコライレーニンのそれを採つて名實共に完備したる一個の思想團體を形成した。斯くてM・L會が生れたのは暑い盛りの八月であつた。

二

當時、東京には既に幾多の思想團體があつて、或は公然、或は隱然、盛んな活動をやつてゐた。M・L會はそれ等の中に立つて獨り超然、華やかな外面に現はれることを避けて主力を有爲な闘士の養成に努め、徐々に而かも實質的に將來に向つて進行を續けた。

然るに、本年に這入つて更らに其の組織を整頓し規約の作成と共に、常務、會計、研究、宣傳の各委員を設けて愈々具體的な社會運動を開始するに至つた。

即ち本年議會に提出されんとしたブルジョアの斷末魔的狂態の結果たる過激法案及び小作人調停法案反對運動の如きM・L會は他の在京團體と共に、是れが運動に努め、全國思想團體を叫合して無産者同盟を組織し勞働組合と共に大々的な反對示威運動を決行して無産階級運動の組織的努力の偉大を示した。

三

ところで、會の創立當時から既に目をトがらしてゐた官憲は會の活動が盛んとなるに從つて漸次壓迫の度を加へ、惡法反對運動の當時に至つては全員の全部が檢束された事もあつた。然るに、其の結果は却つて氣の弱い卑劣漢をフルひ落して益々優秀なる會員の數を増し、其の實質を强固にした。

斯くて五月一日のメーデーには、全國無産者同盟を通じて、各地方の團體と協同戰線に立つ

ブルジョア催眠術

岡陽之助

凡そ奪ふ者は、奪はれる者の無自覺を必要とする。盜人の仕事が人の熟睡まる事を要件とし、只管に「夜」を待ち、寢息を伺ふの因はこゝに出てる。

社會が、勞資の二大階級に峻別され、兩者利害の相反するは歴然たる事實だ。地主は搾り奪ひ、小作人は搾られ奪はれる。この事實を悟られてはと地主は小作人の寢息を伺ひ、階級意識は禁物だ。勞働者は眠らせて置くに限ると心を碎く。

靑年は白紙の如きものだとは、彼等の言草だ。白紙は如何樣にも染まる。泥棒眼は鋭くもこゝに着けられた。

由來、役人は、ブルジョア階級の手先きだ。

そこで郡長、村長が動いた。敎育者はブル思想宣傳機だ。そこで、小學敎員が動いた。軍人は、ブルの番犬だ。そこで在郷軍人分會長の手合が動いた。かくて出來上つたものが所謂官製青年團である。

今や此の種の青年團は全國至る所にはびこつてゐる。そして、面白い事は、何れの青年團も「修養」といふ金ピカ額をかけてゐる事だ。

そして青年團まわりの「名士」がよく呼ばれてやつて來る。加藤咄堂と云つた樣な、東京ぢや酒屋の小僧君にもあげ足を取られ相な常識學者が來る。伊豆凡夫等、軍人の古手連がやつて來る。そして盛んに農村青年は正直だ愚直だと持上げて置いては、修養を說く。要するに修

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、會員總動員の運動を行つた殊に、M・L會發行の宣傳ポスターは、全國的の運動に力を與へて効があつたと一般から賞せられてゐる。

四

最近、××事件が勃發して多くの先鋭同志は官憲に捕られた又、M・L會も亦、仲曽根氏を奪はれた。然しながら、吾々の運動は今や是れが爲めに蹉跌するの餘儀なきに至る程、しかし貧弱でない。即ち我がM・L會の如きは、更らに一層活躍して大いに其の使命を發揮せんとて直ちに會員全部の召集を行ひ、會の組織を根本的改革すると共に、スッカリ陣容を新たにした。

其の新組織形體の概容は、先づ全會員を地域的に區分して、細胞組織の形式を履み、各細胞より代表委員を選出し、更らに代表委員中より執行委員を選定し、執行委員は各部門的に責任を分割することによつて、敏活なる活動が行はるゝ。部代表及び各委員の在任期間を三ヶ月とし、これに依つて、常に新たなる人材の飛躍が期せらるゝことになつて居る。

五

更に、新なる計劃としては、全國に地方會員を募集する事である。そして、それら會員は三名以上となれば必ずや支部を設けてM・L會何々支部とすること、支部員は常に其の地方の青年を赤化教育するに努め、殊に支配階級の巧妙なる策略によつて形式されてゐる謂ゆる愛國青年團の内部に潜ぐり込んで是れが倒壊を企て、以て革命的無産青年團に代らしめること等、それには常に内外の時事問題は勿論、無産階級解放の原理に關する研究資料を載せた印刷物を配布するを始めとし、地方に小作問題その他の問題の起つた場合には應援者を派遣すること及び常に講演會又は集會を催さして是れが講師を派遣すること等、種々の事業を起すことに決定し更らに地方、出版の兩委員を設けて不斷の活動機關に當てる事となつた。

斯くて今や在京會員六十幾名地方會員百數十名を包擁する純然たる革命的無産青年團となり會員の多くは二十歳前後の鐵の如き意志の所有者たる若者のみ而かも彼等の或者は工場に、或者は鑛山に、或者は街頭に、至る所で民衆の中に這入つて猛烈な活動を開始してゐる。思ふにM・Lの今後の發展は日本○○運動の進路を決定すを上に於いて、大なる羅針盤となるであらう。

六

上述の如く、M・L會は今多望なる將來を望んで、全會極度の緊張を示してゐる。併しながら、我が社會運動の將來は、果してM・L會のみの、單獨なる行動を許すかどうか解らない。

今現に、既有諸團體が結合して、一大勢力を生み出す計畫がM・L會會員の幾人かに依つても考へられてゐる。是等の計畫が成熟して來た、運動の全面より見てそれが妥當である事が信ぜらるゝならば、現在の小結合より大結合に移る事は、我々M・L會員の躊躇なく一致する所である。

養とは苦役と貧乏との讃美を意味する。彼等の注文通り正直愚直の青年は「修養」をはげむ。牛馬の如くコキ使はれ、搾られ、鍛えても、尚は口に、服從、貧乏の讃美歌を絶たない。かう云ふ青年が「修養ある」青年である。

そこで、成程、多くの青年は、老朽名士の修養訓に醉ふであらう。兵隊送迎の旗の下にお祭騒ぎに餘念がないであらう青年會の圖書室には、資本主義、軍國主義の書物が滿ちてゐることであらう。夜學校は立身出世を説くであらう。全ての教育機關は、よつてたかつて青年の頭に、資本主義謳歌の泥水を注ぐであらう。かくてブルジョアは、官製青年團ではまんまと成功した。但併、無産青年の少數は、そんなものに瞞着されるには餘りに賢明であつた。毆打たれながら、あえぎゆく馬車馬の運命の中にも自分自身の運命を見出して醒めた。更に自分と同一悲境の無産階級同胞が、全世界に滿ち溢れてゐる事に相當して、青年特有の悲憤にもえた。

これ等少數の覺めたる青年は、自己の双肩に懸つてゐる任務を知つてゐる。その任務とは何であらうか、多くの無産青年に階級意識を呼び醒まし、××的青年を糾合組織する運動を起すことだ。官製青年團の思想を、在郷軍人團の思想を、根底から、赤化して、無産階級の味方に返へらしむる事だ。今や無産青年運動は素晴らしい熱と力とをもつて全國に動きかけた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ロシアとフランスとの青年運動

露西亞の青年運動

沖龍男

はしがき

勞農露西亞の無產青年運動は獨逸のそれと相並んで、世界の無產青年運動中の白眉である。獨逸の無產青年運動が、過去に長い鬪爭の歷史を有するに反し露西亞のそれは、其の成生後未だ日が淺い。是れが兩者の間に橫はる相違である。

然し勞農露西亞の無產青年運動が、根本的に他國の無產青年運動と相違して居る點は、斯かる時日の問題ではない。それは實に無產青年運動の行はれる舞臺の相違である。世界の無產青年運動は、或は獨逸に於けるが如く、或ひは亞米利加に於けるが如く、壓迫の程度の差こそあれ、何れも資本主義の支配下に於いて無產階級革命のための鬪爭を行つてゐる。然るに露西亞のそれは何うであらうか。露西亞には既に資本主義的支配は存在せぬ。露西亞の無產階級は、既に無產階級革命に成功した。世界の無產青年運動と、露西亞の無產青年運動とを區劃する本質的相違は、正に此の點に在るのであつて、是れこそ露西亞の無產青年運動を特徵づけるものである。

今ま吾々が露西亞の無產青年運動を觀察せんとすれば、ツアーの治下に於ける無產階級運動が、極端な壓制によつて蹂躙され、一切の團結權、一切の集會結社の權を奪はれて、寸分の政治的行動をすることを許されてゐなかつたことを先づ理解して置く必要がある。かの有名な獨逸の無產青年運動家ミユンツエンベルヒが『革命前に於いて、露西亞の無產階級の生活し、鬪爭しなければならなかつた極端なる狀態、猶ほまた、一九一七年の三月革命の勃發以來の極端なる狀態は、西歐の模型による社會主義的青年團體の發達を不可能ならしめた』と謂つたことはよく其の眞を穿つたものと謂はなければならぬ。

是れによつて、吾々は革命前に於ける露西亞の無產青年運動に外形的に何等の觀るものがなく、革命後に無產青年運動が勃然として勃興したかといふ理由を明白に知ることが出來る。現在に於ける露西亞の無產青年運動は、實に世界の偉觀であつて一つの鞏固なる青年共產同盟の下に結合され、共產黨を輔けて無產階級獨裁のうちに赫々たる役割を演じてゐる。其の活動は國際無產青年運動の方面に、政治的教育、並ひに一般教育事業の方面に、機關紙其の他の出版物の方面に、經濟鬪爭の方面に農村運動の方面に、或ひはまた體育、乃至は學校制度の方面に觀るべきものが尠くない。然し私は今、露西亞の無產青年運動の斯かる諸方面を述べんとするのではない。斯かる活動は、更に他日に於いて詳細に之れを論ずることゝして、是れが理解の前提をなすべき序說として、露西亞の無產青年運動の成生を全體として觀察し、簡單に之れを敍述することを本篇の目的とする。

三月革命より十一月革命に至るまで

勞農露西亞に眞の無產青年運動の起つたのは、十一月革命の後であることは、前に述べた所によつて明かになつた筈である。が、一九一七年の三月革命――ブルジョアジーの革命――から同年の十一月革命――無產階級の革命――までの間に起つた青年運動は、此の過程として看過することの出來ぬものである。

一九一七年の三月には、ペテログラードに最初の社會主義的勞働青年團體が生まれた。是れは當時初めて勃興した成年無產階級運動の成長に刺戟されたものであることは勿論であるが、また勞働青年に對する堪ゆべからざる搾取も其の原因の一半を形成してゐなければならぬ。是れ等の勞働青年團體は、工場委員會を中心として起つたもので或る程度まで經濟鬪爭のための運動と名づけることが出來るが、兎に角露西亞に於いて無產

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

青年運動が、大衆運動の形を備へたものゝ嚆矢をなすものであつた。

然しながら是れ等の諸團體は孰れも皆な一つの獨立した組織としての形態は具へてゐなかつた。そして初めて獨立した青年團體として現はれたものは、一九一七年の六月に起つた『トルド・イ・スウエト』と名づくる青年同盟であつた。然し、是れは『非政治的』『非階級鬪爭的』のものであつたから、無論階級的に自覺した勞働者の滿足を買ふことは出來なかつた。そこで可成りの無産階級的青年同盟としての『社會主義勞働青年同盟』が生まれた。從つて後者の出現は、前者の消滅を意味するものとなつたのである。

斯やうな無産階級的青年運動の擡頭は、社會民主々義勞働（ボルシエヴキキは當時斯う言つてゐた）の注意を索かざるを得なかつた。黨は『社會主義勞働青年同盟』に對して、出來得る限りの、消極的、積極的の援助をした。けれども當時ボルシエヴキキは、吾々の知る通り困難な狀勢の下に在つたので、十分の援助の出來なかつたのは無論であつて、事實無産青年運動は、自力によつて發達したものと言つて差支へない。

さう斯うして居るうちに、無産青年運動の鬪士は、此の社會主義勞働青年同盟の第一回の會議を開くことに成功した。此の會議は八月十八日に行はれ、多數の工場青年勞働者の出席を見、効果ある結果を齎した。會議に出席した勞働青年は、何れも革命的感激に滿ち、決議は多くボルシエヴキキの精神によつて行はれた。此の日青年は亡命中のレーニン、ジノヴキエフ、並びに逮捕中のトロツキー、ルナチヤルスキーに對して感謝狀を送つた。

此の際述べて置かなければならないのは、此の同盟は決して純然たる社會主義團體であつた譯ではなかつたことである。けれどもボルシエヴキキとの連絡は不斷に保たれてゐた。そして其の機關紙として『無産青年』を發行した。是れは勞農露西亞に於ける青年運動の機關紙として最も古いものであると言はれてゐる。

モスカウでは、ペテログラードに於ける運動よりは幾らか其の形態を異にしてゐた。モスカウで無産青年同盟が出來たのは一九一七年六月であつて、『露西亞勞働黨（ボルシエヴキキ）モスカウ委員會附屬青年同盟』といふ名稱を持つたものであつた。そして是れは其の名の示すが如く、黨の附屬機關であつて其の活動は黨の指導の下に行はれてゐたものであつた。

露西亞社會民主々義勞働黨（ボルシエヴキキ）の第六回大會は、無産青年運動に關して、青年同盟は精神的には黨に從屬しても、形態の上では獨立すべきものであることを決議した。從つてモスカウの青年同盟は、其の組織を變更して『第三インタアナヨナル勞働青年同盟』と云ひ、以つて革命的精神と、國際的性質とを示した。此の同盟はボルシエヴキキの青年分子を中堅として、一般の無産青年の大衆組織となつた。けれども同盟の青年は中堅分子の影響によつて、何れも社會主義的となつた。爾來無産青年運動は、青年勞働階級の經濟的利益のための鬪爭、並びに社會革命のための鬪爭となつたのである。

以上が三月革命から十一月革命の前に至るまでのペテログラード、及びモスカウに於ける露西亞の無産青年運動の概觀である。然し斯かる運動は、單に首府のみに於いて行はれたのに止まらなかつた。此れは全國に擴がつてゐた。次いで運動は單に勞働青年のみならずして、農村に於いても亦た起つてゐた。されども農村の運動は、十一月の共産主義革命に至るまで其の小ブルジョア的傾向を脫することが出來なかつた。然し茲では之れを論ずる餘白がないので、直ぐに十一月革命の敍述に入ることゝする。

十一月革命より露西亞
青年共産同盟の成立迄

十一月七日には、ペテログラード、モスカウ其の他の大都市の勞働者は、反動的なブルジョア政府――ケレンスキーの政府――に向つて蹶起した。當時ペテログラードに開催中であつた全露第二回ソヴイエット大會は、全露の無産階級に檄を發して、鬪爭の時の來たことを告げた。モ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

スカウを除く外の、他の地點では反動的支配を倒壞することは左までの難事ではなかつた。此の時に於ける露西亞の無産階級の活動は、無産階級的革命のための獻身的努力そのものであつた。そして無産青年の大衆が之れに積極的の參加をしたものであることは、無論言ふまでもないことである。此の赫々たる青年の活動を知るためには、最初に反動的ブルジョア政府に侵入したものが、無産青年であつたことを記せば足りると思ふ。十月二十八日には『第三インタアナショナル勞働青年同盟』は、モスカウに於いて反動政府に對する有力な示威運動を行つた。此の示威運動は革命的感激に滿ちた無産青年によつて、延々としてモスカウの市街を埋め、赤旗の靡く所、革命歌の起る所、慄然としてブルジョアジーを震駭せしめた。

無産青年は十一月革命そのものに、最も光彩ある活動をしたことは勿論であるが、而かも傷ましくも彼等の中には、尊ぶべき『革命の犧牲』として、空しく街上に横はつたものが尠くなかつた。モスカウに於ける赤軍の通報勤務・連絡勤務は、總べて無産青年の行ふ所であつた。そして無産青年は完全に是れ等の任務を果たした。十一月の大革命は、斯くして無産階級の勝利に歸したのである。

然しながらブルジョアジーの倒壞と共に、無産青年運動の任務は根本的に相違した。無産青年運動は、是れを劃して全然鬪ふべき客體の相違を見た。露西亞の無産青年運動の眼前には、ソヴィエット共和國の建設に對する協力が、その根本的任務として現はれたのである。

露西亞の無産青年團體は、此の建設事業に獻身的の協力をした。けれども斯かる事業は、分散的諸團體によつては完全に行はれぬ。そこで露西亞の無産青年運動のうちには、漸次に是れ等の諸團體の合同の氣運が釀されて來た。一九一八年十月二十九日には、ペテログラードの青年同盟と、モスカウの青年同盟との二團體の努力によつて、遂に革命的諸青年團體の全露大會の開催を見るに至つた。

此の第一大會は十月二十九日から十一月四日まで、モスカウに於いて行はれた。そして無慮二萬一千人から成る百二十の團體の集合を見た。大會が全國に散在する諸團體の合同を根本目的としたのは勿論であつて、是れは『露西亞青年共産同盟』として成立した。そして其の綱領が作成され、中央委員の選擧が行はれ、遂に其の合同を完成して、茲に露西亞の無産青年運動は完全に、一つの統一された機關によつて指導され、行動することになつたのである。

以上を以つて露西亞青年共産同盟の成立に至るまでの成生の經過とする。露西亞の無産青年運動が、實際の發展を遂げ『世界の無産青年運動の前衞』として『北空の嚮導』として發達したのは、是れ以後に屬するものと言つて大過なからうと思ふ。事實露西亞の無産青年運動は、此の後に於いて數に於いて、事業に於いて目覺ましい躍進をした。斯かる躍進、斯かる事業こそ、吾々の必ず述べなければならぬ所であるが本篇は完全な體系に達する迄の過程の全體としての觀察に止めたも

鳳仙花

高野松太郎

監獄の庭に
去年見し鳳仙花
いまわが窓に咲く鳳仙花

×

爪ぐれの花咲く頃となれりけり
爪ぐれの花
思ひ出の花

×

編輯堂の庭に咲き出し鳳仙花
その花赤く
思ひ澤なり

×

鳳仙花
爪を染めけるおで人に代りて
われは旗を染めなむ

銀座を歩みて

千圓の頸飾りあり
そをかくろ女を思ひ
銀座を歩む

×

銀座街
筵をしきて病藥を賣る
翁の頬痩いちじろきかも

×

何か急に怒鳴りたくなり
ハタとして口を噤みぬ
銀座の街に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

フランスの共産青年運動

小牧近江

御承知の通りフランスの共産黨内部に大分ごたごたがあつた共産黨インタナショナル第四回世界大會にそれが問題になつた通りである。フランスの共産黨の中には、中央派、右派、左派などがあつて各々相對抗したのである。それが、またどうした理由かといふと、元來フランスの共産黨内には多量のナショナル根性があつて、それがどうも共産黨インタナショナルの精神と合致せぬのである。その點からいつて最もプレシデユームの主旨に近いのは左派である。

この混沌の中にあつてフランスの青年共産黨はどんな態度を採つたか。フランスの青年共産黨は左派、即ち第三インタナショナルの精神とともに進んでゐるのである。即ちフランス青年共産黨は最も純に、最も急進的な歩み方をしてゐる。このことは、昨年春、例の協同戰線の主張が大分やかましくなつて、フランスでは可成の反對のあつたに不拘らず、逸早く徹底的にそれに賛意を表したことでも分かる。それ以來、青年共産黨は常に左派支持の態度を取つてゐるのである。昨年のフランス共産黨大會で、フロサール一派の中央派の裏切りで不幸左派の敗北となり、黨の機關紙リ●ユマニテ紙が全然反左派系の勢力に歸した時も青年共産黨機關紙ラ●ヴアン●ガルト紙は左派のために紙面の大部分を提供した位である。それほどフランスの共産青年運動は同國共産黨左派とともに共産運動の急先鋒となつてゐるのである。それは個人的に青年運動の中心人物といつていいモリス●ラポルト、モリス●オネル、やガブリエル●ペリ等に負ふところの大であることは勿論であるが、フランスの青年のいかに、先輩にして右傾共産黨員などの如き第二インタナショナル派の亞流とは異つて青年らしく元氣に、また、眞面目に共産主義的に眼醒めてゐるかを示すものであると思ふ。

それは昨年五月十四日モントリユツソンのフランス青年共産黨の第二大會の決議にもあるやうに、フランスの青年共産運動は他の國の運動と同じく經濟闘爭、反軍國主義運動、教化運動スポートなどを當面の問題としてゐる。中でも經濟闘爭は當面の問題として最も重大なプログラムであるらしい。由來フランスの社會主義運動は主として政治運動を基調として來た。ある意味に於てあまりに議會主義の運動であつたともいへる。それ故に、勞働運動と社會主義運動には常に相容れない二つの區分された運動の傾向があつた。しかるに、勞働運動と密接な關係のない社會運動は實際上の勢力とはいへない。青年運動が主として經濟闘爭を運動の基調としたことはフランスとしては無意味なことではない。この點は經濟的闘爭のみに據り、政治的要素を無視して來た日本と全く立場を入れ代つてゐるやうな面白味がある。そこで、どういふ風にして經濟闘爭に手を染めるかといふことになるが先づ戰略として、當面の問題、つまり日常の部分的要求を輕視するなといふことである。但しモットーとして「革命を變體するものは有害、革命の準備となるものは有效」とするのである。これは、それだからといつて、レフオルミズムにとらはれるなといふ警告だ。第二は共産青年のみで直接行動をなさうとするものである。第三は青年サンヂカリスト聯合と提携しやうとするのである。第四は組合内に共産主義の細胞をつくるとする戰略である。フランスには青年共産黨の他に青年サンヂカリスト聯合といふものがあつて、反軍國主義がその最も重なるプログラムである反軍國主義運動といつても前者は共産黨の戰術で行かうとするし、後者は忌避主義を採らうとする萬事そういつたプログラムの相異がある。その二つが完全に行動をともにすることは餘程の困難だらう。教化問題にも大分具體的方策があるらしいが、スポートの方はドイツなどに比べてまだまだ問題にならない。

青年の心理

斯の如き青年

小川未明

私のところへは、文藝方面に志した、青年がよく來ますが、やはり、それ等の青年を二つの傾向に分つことができます。

眞理を愛好し、眞理のために心から戰はうとするものと、口には、立派に正義を主張し、階級的自覺を有する如く見えてもその實は利己心に燃え、個人主義的慾望から、つひに離るゝことのできないものとの二つであります。

私は、この二つの傾向の青年は、その環境によつて、教養によつて自から分れるものと信じてゐたが、やはり、多分に、その青年の持つて生れた性格によることの多いのを知るに至りました。

眞理を愛すと、愛せざるとはその人の良心によるからです。そして、眞理のために殉ずるといふことは、全くその人格に依らなければならないからです。

困る時は、盛に、資本主義制度の缺陷を指摘し、同時に、無產階級の結束すべきを說きながら、少し、金廻はりがよくなつたり、文書でも出ようものなら、昔の謙虛な風は何處へか失せて、嫉妬し反目するのが、彼等の常であるからであります。

困難は人を殊にすといふやうな言葉はあるが、それは、その人の本質如何によることであつて、苦しんだからといつて、みんな目醒めるものではなく、眞に良心あり、正義に感ずる人々は、たとへ、體驗的に、それ程の苦勞はしなくとも、夙に無產階級に同情することの誠意を有するものです。

私達は、將來に於て、彼等が新社會建設の任務を負ふがために、青年を敬愛します。中には確かに目的を見定め、克己して一步、一步、眞理のために戰ふ青年のあることは勿論です。これ等は全く偶像を破壞し、舊慣を破り、新道德に目醒める者と許すことができますけれど、中には、ある時は、最も熱烈な味方の如くであり、またある時は自己の利害から、仇敵も啻ならざる憎惡を感ずるやうに、たしかに、期待を裏切るべき性質を有した、輩もあります。

現在の青年は、眞に、新社會に生きるべき者と、當然ブルジヨア心理の拔け切らない、卑しい心を有した者と、二つに分けることができます。

やゝもすれば、口に何々主義を叫び、思ひ切つたことを言ひますけれど、それによつて直に其の青年を信ずることのできないのを知りました。

眞に、私達の賴みとする青年は、自己犧牲の精神を有し、正義に感激し、戰はんとする青年であります。自分の名譽と利益のために、反目嫉妬し、常に他人の功を忖み、相互に陷いれんとする如き行爲を恥とせざる輩の如きは、決して私達にとつて賴みとする青年ではないのであります。

眞實と謙遜の心のない青年に私は、多くを囑望することができません。

眞に、正しく生きようとする青年は、「働かざる者は食ふべからず」といふ、道德をよく辨へてゐます。

この人達は、どんな勞苦をも決して厭ひません。そして相互に尊敬することを忘れざるかはりに、また故なく、叩頭することの恥辱であることをよく知る者です。

身自から働かず、徒らに壯語し、そして、利害のために容易に妥協する者は、また、必ず味方を裏切る時があることを、私達は、知らなければなりません。

斯の如く、今日青年の心理は複雜してゐますが、やうやく、不誠實の者は、いつとはなしに離れて行つて、眞に、正しい困難な道を歩かうとする者ばかりが結束して行くやうな狀態になりつゝあります。

私は、無產階級の青年を信賴

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

してゐます。彼等は、默々として眞理を疑はず、眞直に結束して進んで行く青年達であるがために、殊に尊敬してゐます。
　未來は、青年の手の中にあるのです。

現代青年の心理的特徵

——意志の在る處道路なきオクロモフ——

津田光造

只漫然と「現代青年」と云つた所で、個々の青年のテムペラメントや環境の相異に依つて、決して千偏一律に云へないので、その心理的特徴が何う云ふものであるかの問題に對して、適確な回答を與へる爲めには、勢ひその個々の青年のテムペラメントや環境を精査した上で、それを基準にして論じなければ、砂上に樓閣を築く樣な事になりさうな氣がします。せめて環境だけでも、凡そ決定して居ないと之れは結局何とも云へない事になりさうです。例へば「ブルジョアの青年」とか、「プロレタリアの青年」とか。

　が、今與へられた問題は「現代青年」と云ふ概括的な抽象的な一個の現代の青年を意味するものであると思ひますから、茲では、殊更に、今云つた樣な、科學的な、見識的な、或は實證的な態度から離れて、寧ろ詩的な、藝術的な或は直覺的な態度で云ふ事にします。——凡そ、現代の青年は、彼れの持つテムペラメントやその屬する環境の如何を問はず、斯う云ふ心理的特徴を持つて居るであらうと云ふ極めて大まかなサッポージションで。

　若しさう云ふ態度で、私が茲に現代青年の心理的特徴に就いて云ふ事が許されるならば、私はそれに極めて簡單な回答を與へる事が出來ます。即ち、現代の青年は「薄志弱行」です。

「意志の在る處道路あり」とはナポレオンの名言ださうであります。如何なる時代でも、如何なる國でも、さう云ふヒロイックな氣持を持つて生きて居るのが、青年の特徴とされて居る樣です。現代でも、彼れが青年であるからには、彼れにさう云ふ心理的特徴のある事は、疑ひの無い事實だと思ひます。島田淸次郎君のあのヒロイズムの文學「地上」が、現代大多數の青年に持て囃される理由はこゝに在るのだと思ひます。

　それは現代青年をロマンティックに見た事實の一面です。さう云ふロマンティックな精神が現代の青年に在る事は、勿論好ましい事で、同慶の至りです。社會主義にしても、共產主義にしても、乃至は無政府主義にしても、一切の「理想」は、この青年の若々しい、ロマンティックな精神、或は熱情に因つて生み出されるものであるからであります。

　この點、現代の青年は、大體に於て、理想的でロマンティックであると云へます。それは併し、知識階級或は有產階級の青年よりも、より多く無產階級の青年の特徴であると思ひます。

　斯う云ふ青年の青年らしい若々しいロマンティックな純眞な或はポエティカルな理想或は情熱は、それが有產階級乃至知識階級と進むに連れて、破れ、汚れ、或は薄らいで行く事實を、吾等は茲で見逃してはならないと思ひます。即ち、知識階級或は有產階級の青年のデカタン的傾向であります。デカタンは青年の青年らしい純眞なロマンティックな或はポエティカルな理想或は情熱が、現實の醜惡な固陋な不合理な壁に打ち碎かれて破れ、汚れて磨り滅らされた所から發生する必然の現象であると思ひます。

　だから若し、現代の青年を、知識階級を中心にして、リアリスティックに見て云ふならば大體に於て、青年の青年らしいヒロイックな勤勉な氣持の薄らいだ懶惰な「オブロモフ」になつて居ると思ひます。

　斯樣な現代の青年に取つては實に「意志の在る所道路なし」です。只氣紛れです。デタラメです。ナマケです。薄情です。發作的です。懷疑的です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

所謂大陰謀の正體

鳴り物入りの檢擧

田口運藏

　過般、全國の各新聞は社會主義者大檢擧の記事を掲げ、大陰謀、大逆事件、第二の幸德事件全國に亙る大反逆團體事件などゝ世間を驚かした。何がために一週間前から此大檢擧が豫定され、堂々と鳴物入りの大宣傳で行はれたのであつたらうか。

　これより先に、早稻田大學の學生暴力團は少數の思想研究生の上に暴力を振るひ白晝の私刑を以て、ある事ない事の自白を強いたとの事である。勿論、この暴力團は警察の諒解と連絡援助の下に、かゝる兇行を敢行した形跡がある樣である。この私設警察の活動に伴ふて來るべきものが何んであるかは、多少とも社會事相を解する者にとりては十分に豫期された事であつたそしてそれが豫期された如くに實現されたのであつた。

　聞くところに依ると、今回の大檢擧は豫め檢事局、內閣の許可、各新聞の同意を得た上で行はれたものであつたらしい。しかもその結果は、大々的に宣傳されたような犯跡は一も擧げる事が出來ないで、內務省自から一小秘密結社事件（彼等の口をかりて云へば！）で世間を騷がしたと陳謝的辯明を早々に發表し、自己の愚劣を公表したではないか。それにも拘はらず尙何物かを得んとしてスパイを八方に追ひ放つた爲めに、血迷ふたスパイ共は大山敎授の家に吉原女郎をつれて行つて一喝を喰つたと云ふではないか（六月十一日の東京毎日新聞による）この樣な醜態を演ずると同時に、他方、御用新聞を以て盛んに反間苦肉の策まで講じてゐる。自分（田口運藏）の談云々と根も葉もない記事まで掲げて、同志の反間策をとると同時に、資金云々の虛偽をつらねて騷亂策の限りをつくしてゐる。

　要するに、今回の大檢擧は赤池總監のグーデターの練習とよりしか見る事が出來まい。練習としては、カナリ念の入つたものだ。由來警視廳が內閣に直屬して居るのは、確かフランスと日本のみと思ふてゐるが、ナポレオン三世の歷史的暗黑時代を今現在日本で眼に見る心地がする。

　かくの如く時代が暴力萬能に近づきたる事は何人も首肯する所であらう。一面から見れば日露交渉に反對なる樞府や內務の腰拔官僚共が、右手で、これが騷亂策を講じ、左手で日本の同志（勞農ロシア主權と志を同じくする分子）を檢擧し以て得々たらんとしてゐる。彼等の此の時代錯誤の行爲には理論もなく、正義もない。

　政治ゴロが集つて政友會を作りブルジョアーの走狗が商工黨の組織を急ぐのを認了すれば、同主義者が一の綱領の下に集るに何の不思議も不理もない。たゞ單に、それが思想と云ひ主義と云ふものを以て集るから恐いと云ふのであらうか？。例へば無主義の小細工師が集つて經綸學盟を拵へ腕自慢の不良分子が集つて縱横俱樂部を組織して暴力を亂用しても、警視廳はこれを却つて利用してゐる樣であるこれ等の點は吾人に、吾人の理論と氣分とを最もよく正當してくれる。

　現代の青年は今回の事件のために何んな印象を受けたのであらうか。第一に、堂々たる大學の敎授を巡査級の低能兒共が亂暴に扱ふた事について、何物を青年は感じたであらうか。次に自由の叢淵である筈の學園にドロ足で踏み込み、眞理を討究する研究資料の貴重なる圖書を勝手に取り上げた事件に就いて、日本の青年は何んな手本を學んだであらうか。

　しかも、一方暴力を主張する上杉某等の一味徒黨を措いて問はざる事は日本の青年に何物を敎へたであらうか。答は甚だ簡單なものである。一世を擧げて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

暴力の時代が近づいた事であらう。吾人はすでに今日までの戦闘に或は疲かれてゐるかも知れないが、來るべき青年、若き勞働者農家の子弟は、この生ける教育に悟つた點は甚だ深大であつたらう。忘れもせぬ、明治末葉の××事件に、學生であつた自分は如何なる感激を受けた事であらう。今回の檢大學事件のために、多数の青年が自分より以上の若き血をたぎらせ心臓を騒がせた事と信ずる。多額の官費で——それは國民からの膏血をしぼつて官費で、吾人のために宣傳をしてくれるのである。この點から考へると有難くてたまらなくなる。然しながら犠牲に擧げられた多くの同主義者、分けて、後に殘された、その家族や愛人を思へば涙なきを得ない。後に殘された吾人同志は力をつくして、せめて殘された家族の人々の、慰安と救濟とに當らねばならない。この絶大なる犠牲を無益にしない事が、吾人殘された同志の務めであり責任である。（精養軒三十五號室にて）

高尾平兵衛君を悼む

六月二十六日の夕刊は、彼が赤化防止團長米村嘉一郎の所信を質すべく、其の本部へ乘り込み、格闘に及び、遂ひに引き揚げる際に、米村の爲めに射ち殺されたと報じた。

反感から懐しみて

岡陽之助

何でも彼れが露西亞から歸つた時分、僕の關係してゐた「自主會」で土産話をした。その夜が、僕が彼れを知つた始めだ。それから、ざつと半歳、思へば彼れと僕との交際は日が淺かつた。

今年の正月、僕が政黨組織の問題で騒りまわつてゐた頃、ある中傷に乘ぜられた僕は全く彼れに反感を抱いてゐた。がそれからチョイ〳〵遭つて「ヤア!」「ヤア!」と言葉を掛け合つてゐる中に、反感は次第に懐しみに變つて行つた。

彼がフラツと遊びに來た事もあつた。ある時など長火鉢を間にして燒芋を噛りつゝ（尤も彼れは芋は食はなかつた）詩の話に耽つた。彼は、しきりに、濱綴の詩をほめた。

福田秀一氏の家の應接間で、茶椀で冷酒を呑み合つた事もあつた。彼はその時茶椀でケイケイやりながら「監獄破壞」をクリ返へしては獨り痛快がつた。

六月廿日「對露問題懇談會」で、四川洋食店で彼れに會つた（今から思へば、この夜が、最後だつたのだが）僕は、彼が階段の所に、ぼんやり考へ込んでゐたから、いきなり彼の肩を叩いて笑つたら彼も、元氣よく笑つた。が急に眞面目にかへつて「協同戰線聯盟」の事へ話題を持つて行つた。僕は彼の心中の一種の悲壯味を看取した。編輯室の机に頰杖ついて瞑目すると、彼の笑顏が浮かんで來る。（六月二十七日）

高尾平兵衛に對する追憶

高野松太郎

後年の私は彼と思想の相違から餘り親しい往復もしなかつたが、彼が反動主義者の兇刄に倒れたことを思ふと、彼に對する追懐が湧然として來るのを覺える。

思へば大正八年十月（?）私が勞働會議使節派遣事件で公判廷に立つたとき、傍聽席より檢事を罵倒するものがあつた。そしてその日の夕刊によつてそれが自由勞働者組合の高尾平兵衛なることを知つた。それから二三日後大きな圖體を職工服に包み、眼をシバタキながら私の宿を當の高尾が訪れて來た。

その後高尾は鑛山同盟會の機關紙勞働者界の編輯をやり、僕達が足尾事件で囹圄の身となつたとき、後事を引き受けて多くの人間を糾合して會社に對峙した。

それから後のことだが彼は二度獄に繋がれ、ロシアは二度も往復してゐる。この時こそ彼の得意の絶頂であつたであらう。然し第二回のロシア歸り後、私と彼とは各自の持つ思想の相違から離れたのであつた。

彼が死を聞けば、私が云はんとして云ひ得なかつた一つの事を思ふ。それは大正九年の足尾騒動の時、彼と竹内の二名が私の宅にゐるのを嗅ぎつけた二十名ばかりの巡査が襲ふた。彼は私への迷惑を慮つて素直に同行した。その翌朝私が彼を警察に訪ねたとき彼は栃木監獄に護送された後であつた。その後ある理由の下で私はしばしの間姿をかくしたので、彼を訪れる機會がなかつた。たゞこれ丈のことだが、私はその時、無理を通せば通せたものを思はれて仕方がなく、一度謝し度い氣になつたのである。而もその日は夕方のことであつたことを思へば自分は一度何とかして直接このことを云つて見たい氣がしたが遂に云ふことが出來なかつたと思ひ感慨無量である。

革命家高尾平兵衛君

福田狂二

俺が高尾君を知つたのは一昨年八月俺の出獄歡迎會が始めであつた。それから彼が昨年春から俺の宅に來てよく語つた。から彼の性行、人物を知つた。彼は奇謀湧くが如き、敢勇獅子の如き。眞個革命家の典型であつた。

俺の妻すみを伴れて來たのも彼であつた。彼は俺達夫婦の媒酌人だ。今米村嘉一郎如き一壯士ハ爲めに殺されたとは殘念だ。シカシ高尾よ。足下の死せる後に幾千の高尾は輩出せん。よつて瞑せよ。

檢査場にて

稲村隆一

K兄ー

僕は、兵隊検査の時またとないよい經驗を得ました。そして平生大兄や私の考へてゐることが、どうも正しい樣に思ふのです。それを大兄に申し上げて見たいのです。

それはこの間、僕は在鄉軍人團の重なる人と（僕の町の）會つて意見を交換することが出來た。その時に大分早大の事件の辯明に弱つた。が兎に角、面白かつた。漠然たる反軍國主義の宣傳では到底在鄉軍人團を××させることが出來ないと思ふ。××させることが出來なければ乘つとるより外はない。

それには單にアンチ、ミリタリズム運動では只反感を買ばかりだ。彼等は一の政治的組織であるから現役兵の樣に容易に崩れない。彼等は在鄉軍人團としての政治的要求を持つてゐる。だから政治的要求の滿足されるものについて行く。今彼等は小ブルジョア的デモクラシー或は在鄉軍人としての參政權を要求してる。

彼等は軍閥の排斥。國民の軍隊なる標語には贊成だ。

然し漠然たる軍國主義の反對は直ちに平和主義と思つて（ブルジョア的の）決して贊成しない。又彼等の地位を失ふ樣に思つて。

今度國民軍事研究團を作つて全國的に在鄉軍人の運動をやる者があるそうだがそれが單にホラにせよ、あゝした運動に應ずる社會的條件が日本には、かなりあると思ひます。殊に僕は現在の資本主義を否定するあんな運動は、かなり在鄉軍人の間に成功すると思ひます。僕等の同志はあまりあの問題に對しては考へないし（僕自身も）又自分の力に對して幻影を感じてると思ひます。僕は平生臆病なものでも軍隊と云ふ氣圍氣の中に入ると身命を捨て、難に赴くの精神に歸ると思ふのです。目的は單なる無意識的なものであつても。故に僕は軍隊的結合が最も恐ろしいと思ふのです。

我々の同志がこの軍人的結合を青年に對する反軍國主義の宣傳運動で防げると思ふのは大なる誤解でないでせうか。

やり方によつては彼等も僕等の味方たり得ると思ひます。

一方が在鄉軍人を自己の陣營に包括しようとする時に反軍國主義の宣傳運動で對抗しようとするのはあまりにノンキなことです。

僕は在鄉軍人に對しては、かなり日和見的政策でいゝと思ふのです。僕は日本の社會的條件を考へずに又在鄉軍人の狀態も調べずにアンチ、ミリタリズムの運動をやるのは戰術上損と思ひます。

僕等の運動は玉碎することよりもあくまで打算で行くのが眞でないでせうか。

それで倒れるのは仕方ありません。只自己の力の幻影に醉ふ事だけは我々の運動にとつて大禁物ではないでせうか。

K兄ー

僕は切實にこの事を同志や僕自身の心に訴へなければならい。

權力の獲得は結局力です。軍隊の力を敵に奪はれて、どうして勝利を得ることが出來ませうか。僕等は如何なる手段を講じてもこの力を自己の手に入れなければならないと思ひます。（手紙の一節）

微力な參加

大無窮

私は土佐の田舍の敎師です。自分に力のないことと完備した資本主義社會にぶつかるには餘りに貧弱なことを常にはがゆく思つて居ます。しかし力がないと云つて默つて居る時ではない。我々の運動は大衆の力である、如何に微力な自分でも戰鬪に參加することは單に一つの數を增すだけでも何かの役に立つに違いない進め！　近頃はさう云ふ感じがし出したのです。

何と云つても敎育者は社會の中でも一番後れた人間達だと云はれて居ます殊に土佐の田舍、こゝは志士を出した地でありながら德川・百年のやうな眠を續けて居るとは實に憤慨にたへません。がいつまでもさうではありますまい。屹度此の田舍も××の生誕地に愧ぢないだけに眼覺めて來ることゝ思ひます。私はそれを樂しんで居ます。

絶望的な農村

涌島生

紛失したんでせう。只今本縣下の青年運動の現狀を書かうと思つて机に向ひましが、どうも書くことがないやうに思はれます。報道するとすれば、全國何處でもやる青年大會の樣子と決議事項ですが何處でも同じく時間勵行、頸卷をなすべからず、長髮をおくべからず（これは社會主義宣傳員の心得おくことで、少くともこの地方に長髮で來て普通農村青年に接することは困難です。可笑しいでせう長髮の喋舌ることは仲々危險がられますよ。）等で勿論官製青年團の空虛を實例に示すぐらいなものです。と云つて反對に所謂無產青年の團結があるかと云へば一つだつて有りません。農民運動の支部が四つもあり、農民組合の山陰聯合會があつたりして、外見上一寸かぐはしく思はれますが、實質は非常に思はしくありません。智識の缺乏が大なる原因ですが、經濟的に見て將來見込のないことがその又原因だらうと思ひます。だから、この鳥取縣の中でも、米子町を中心にする弓濱地方（日本でも最も古くから農民組合のあるところ）は比較上產業的に勃興しつゝあるところで、青年も相當眼ざめつゝありますが、日本古來の家族的因襲は農村では未だ非常に力強く、先づこれを破壞せれば青年の蹶起を期待することは出來ないと思ひます、無產階級解放運動の戰線に親子共に立つべきものでも、實際は六十年代のロシヤに見るが如き「父と子」の狀態が見受けられます。併

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、今ではまだ智識が缺乏してゐるから、それほどこの葛藤が目立ちませんが、一方宗敎的な因襲觀念が安定な保つてゐます。

無產青年が一大團結をつくつて眞に解放運動をやるためには、もつと〱普遍的な覺醒運動が必要です。だから、僕は農村へはいつたけれど、都會の無產青年は兄だから・れに從へと云つた風な、無理解な宣傳は却つて効果がないと思ひます。斯ういふ點にまで集權主義でないと社會主義が保てないやうに思はれ勝ちなことを殘念に思ひます。リュ井スは「勞働階級の來れる最大暗黑の呪咀は近代思想の燃喚すべき世界から遮斷されてゐることだ」と云つてるやうですが、今、このことは農村青年に最もよく當嵌ることです。獨りよがりな、空論的な、力強い言葉よりも、自然科學の內奧に先づ入れて見せる方が古い因襲をよく壞し得ると思ひます。

官製を倒せ

群馬　M・O生

常に資本主義擁護の爲に利用せられつゝある官製御用團體にして、全國的なるものには、青年會、在郷軍人會、處女會等がある。其中で最も地方にだて有害なるものは彼の官製青年會である。青年會は、小學校に於けるブルジョア敎育に依つて栽培せられた青年の若苗を直ちに其苗床から拔きとり、强制的に已れの畑に移植し、一層ブルジョア本位に仕立てゝ、天晴れ忠良なる純民として更らに在郷軍人會の本田へ定植するまでの役目を爲してゐるのである。而かし、漸く社會の諸相が眼に映じて何ものかを求めんとする心切なる青春時代を受持つて『精神的去勢術』を施すのであるから、其の階級意識を鈍らせ革命的精神を麻痺さしむる事甚だ大である。併し、青年が感受性に富むことは吾々にとつても亦好都合である。其處で先づ吾々は青年に向つては思想の注入運動から始めねばならぬと思ふ。彼等の聞かせられる話は小學校長の古手に依つて拵らへた社會敎育主事や何々修養團の修養技師の話である。彼等の讀ませられる書籍は安價にして低級な修養雜誌か、軍國主義宣傳の雜誌である吾々はかゝる雜誌を驅逐して社會主義の雜誌を之れに代らせなければならぬ。先づ知らしむる事が覺むる事の始まりである。一枚のリーフレット、一冊のパンフレットに依つて、末賴もしい鬪士を得た經驗も少くない。講演會、研究會を催す事も有効である。

一體地方農民は一般に保守的であり因襲的であり宗敎的である。彼の農民組合の如きも單なる目前の利害にのみ走つて小作條件の改善等に依つて組合の目的足れりとして滿足するならば何の役にもたゝないのである。無產階級革命にとつて如何に農民が重大な意義を有するかはロシア革命に依つても明かである。農民をして其究極の目標に向つて突進せしめんとするには、農村青年の力に依るより他はない。

今や時代の潮流は都會から農村へ、工場から田園へと流れて如何なる僻村へまでも浸み込んでゐる。斯くて自覺したる地方青年の間には、官製青年會破壞、無產青年團結の運動が起こりつゝあるのである。吾々は極力外部內部から總ゆる手段をもつて青年會の破壞に努め、之れに對抗して無產青年、自由青年の戰線を沒らなければならぬ。

戰術の時代だ

林　仁之助

麥窟は上穫期を前に控へて日が迴る程忙しい五月二十七日、土砂降りの夜中なにもかゝはず同志が三十名ばかりいつもの溜所に集合した。それは東京より青年農民運動家××氏が來ると云ふのだつた。その中には二里も三里もの遠方から來たものや、水平社の堅々が五六名も來て居た。戰術の問題で時間はぐん〱過つてゆくのだが、當の××氏は仲々來ない。其の內に「ヨクジデキヌユケヌ」と云ふ一通の電報が突然飛び込んで、事はオジヤンになつて了つた。かゝる結果を生んだのに對しては、仲介者の責任云々よりも先方の××氏を責めたかつた。若し自分が何うしても來れないのなら代理位よこしてもよからう。特に今度は先方から是非當地の同志に會いたいからと云ふのだつたのだから。そうすることは尙更らのことだ。これは何も僕だけの不滿ではない。三十餘名の同志の誰れもが考へ且つ口にした意見だつた。僕は先方の非組織的なことを不服に思つたが、それと同時に此の時位都會に於ける青年運動と地方（農村）に於ける青年運動との本質特質連絡の問題について考へさせられた事はなかつた。以下それについて少し意見を述べて見やう。

一、都會に於ける無產青年運動

先づ集中的で、便利で、非地域的で、刑事の目も閉塞し得ることが、其の特質である。だから直接賃奴隷でない各種學生、文筆勞働者、壯士、小學敎員、軍人等を糾合し得るから、其の運動は、大衆的に色彩も鮮明に發展し得る事と思はれる。而るに、

一、地方に於ける青年運動は

分散的で不便で地域的で警察も直ぐ郵便局と結托したり隣人を買收したりするそれに封建的惰性心理が家庭的村落的規範として不文法として存在してゐる關係上、仲々都會のそれの如く集中的大衆的には行かないがしかし階級意識そのものは都會の無產青年（直接工場等の賃銀奴隷者は之の限に非ず）より强頑であると思ふ。それは都會の如く生理的心理的に安價な慰安が容易に得られないこと、過度の勞働の連續的慘憺、親爺の暴力的壓迫（實際ふところに雜誌でも入れて居ることが知れると、親爺は子供が勉强すれば、働かなくなると云ふ恐怖心理から暴力的にその雜誌を裂くか、强迫するかゞ常例だ）への叛逆等が、其の强大な原因と思ふ。だから苦痛感覺の覺醒していない青年小作人の中に、決死的な叛逆兒を深く得られる。一例として今年除隊された在郷軍人で同志の一人が軍隊で、上官から——「貴樣等はハガキ一本出せば幾人でも來るが此の馬は大金のかゝつた此だから身命を賭して大切にしろ」と。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

或る日の日記
―一小學敎師の―

大無窮

五月×日

校長が病氣で寢たので、校長の受持の五六年を見に見つた。歷史の時間だつた。「何處だ？」ときくと「仁德天皇です」と云ふ。俺の胸には、ギクリとひゞく何物かゞあつた。よし！之は戰ふべき一つの機會だと心でさゝやいた。一寸冥想して、きつと旨く行くと云ふ確信を得ると、知らず〳〵會心の笑が浮んだ。

「仁德天皇が御殿から町をお見降しになつた時に、民のカマドからはちつとも煙が出て居なかつた。飯を焚くにも米がなかつたのだ。そこで天皇は御仁政をお布きになつたが、一體人民はどうしてそんなに貧乏になつて居たんだらうね？」

「人民が稼がなかつたからです。」

日頃のブルの宣傳の効いて居る一人は答へた。

「作物が取れなかつたからです。」少し頭の好い奴はかう答へた。

「さうだ。それもある。しかし外にまだ大事な事がある。前の時間に習つた所をよく覺えて居る者には直ぐわかる。」

彼等は一樣に前の處をさぐつた。しかし其の何處から人民が貧乏になつたわけをさがし出して好いかまるで見當がつかないと云ふ風に皆呆然して居る。

「どうだ。わかるか？」

「わかりません。」と皆答へた。

「仁德天皇が御位に即かるゝ前にはどんなことがあつたかね」

「日本が三韓を征伐しました。」

「さうだ、はるばる海を渡つて三韓即ち今の朝鮮を征伐したのだね。すると其の征伐のためにどんなものが要るかね」

「船です。」

「米です。」

「戰爭の道具です。」

「さうだ。そんなものが澤山要る。所が其の米や、船や、戰爭の道具を作つたりする者は誰だ。」

彼等は暫く考へて後、殊勝にも

「人民達です。」と或一人が答へた。

「さうだ、さうだ、それが大事な所だよ。好いかね、船を造つたり、戰爭の道具を造へたりする、お金を差し上げるのも、兵隊達が食ふ米を納めるのも、皆人民だ。だから戰爭すれば人民は澤山の税を納めなければならない……」

「先生！それで貧乏するのです。」

「うん、わかつた、わかつた。」

子供達のつぶやきを聞いて、俺は興奮して續けた。

「そして戰爭にはまだなくてならないものがある。」

「鐵砲です。」氣の早い奴は腰かけたまゝ答へた。

「鐵砲の丸です」とヒョウキンな答に皆を笑はせるのもある。

其のうちにさうとう、

「兵隊です」と云ふ奴が出て來た。

闘爭心理の芽生え

一

同じ自分等の小供仲間に、貧乏人と金持との區別のある事に氣の附いたのは、一年級に入つて半年ぐらい經つた時であつた第一着てる着物に、いゝのと惡いのとある事がわかつた。次に、年中同じ着物を着てる者と、時々變つたのを着換えて來る者とがあるを知つた。着物の次に僕の發見したのは、習字の清書に使ふ日本紙の質の差等であつた。いくら刷つても濃くならないやうな惡い墨で、誘きるやうな粗惡な紙に清書をしてる友達には、一種の同情が起つたものだ。

それから、今思ひだしても慘ましい思ひのするのは、修學旅行の時の辨當のお菜に、ひどい優劣のある事であつた。黄色い玉子を持つた者と、赤い梅干だけを持つた者との對象などは、幼い頭にもよく寫つた。

その頃はもう、誰と誰との家は金持ちだなどゝ言ふ噂やサヽヤキが取り換はされるを聞いた。

二

二年級頃になると、學課の成績の上に競爭を意識した。習字が甲の上であつたり、算術が十點であつたりする事に誇りを覺える時、自分が凌駕した敵の中に、所謂金持ちの居る事に、輕い痛快味を感じたものである。

帽子の内輪に卷いたものに、本統の皮を使つたのと、皮に似せて紙を合せたのとがあつた。本統の皮を使つたのは無論高價なので、金持の子の被つてゐる帽子だ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

『さうだ。其の兵隊には誰がなるのだ。』

『人民です。』もう大分俺に引きつけられて來たので思ふやうな答が出る。

『人民の中のどんな人だ。』

『若い人です。』

『さう、若い働き盛りの人が出るのだね。そして中には戰爭中に死ぬるのもある。負傷するのもある。さうすると百姓の仕事は段々どうなるかね。』

『衰へます。』

『よし。働く人が少なくなるから産業は衰へる。おまけに税金は段々高くなるから、人民はいやでも貧乏になるわけだらう。其の上にキキンでもあつては食ふものもなくなるのはあたりまへだ。丁度仁德天皇が御殿の縁から御覺になつた時はこんな時だつたのだ。』

『そこで愈三韓征伐はどう云ふ風にしまいがついた。』

『向ふは降參して、川の水が逆さに流れても、日が西から出るやうなことがあつても叛かないと云ひました。そして貢を澤山日本へ持つて來るやうになりました。』

『さう。日本の兵隊がよく働いたので、向ふはさんざんに負けたのだね。そして毎年貢を日本へ持つて來るやうになつた。が一體其の貢はどうするのだらうね』

『人民にくれます。』

『兵隊にくれます』

『さうだ。よく働いた人民達に別けてくれるのがあたり前だね戰爭のために澤山お金は費すしおまけにお米は取れない皆困つた時だからさうしたら人民達は助かるのだ。所が人民達は其の時分どんな暮しをして居た？』

『明日食ふ米もありませんでした。』

『なせだらう？』

『…………』

『人民が暮しに困らない程別けてやることは出來なかつたと見えるねえ。また日本國中の人々に一々わけてやるなどと云ふことはとても出來さうにないことだね。一たい戰爭してどんな好い事があつた。』

『日本の兵隊が偉いと云ふ事が知れました。』

『さう、エラくなつた。エラくなつたらどんな好い事がある？エラくなつたら食はなくても好いか？』

『貢を持つて來るからよございます。』

すると一人の生徒が

『先生いけません。貢を持つて來ても人民は何にもなりません』

『それぢや、戰爭をして、人民は結局どう云ふことになつた？』

『貧乏になりました。』

俺は得意になつて引きあげた。

此の日俺はしみじみ考へた。我々の社會には假りに自由がないにしても、せめて教育、而も兒童の教育、だけでも自由であつたなら、如何に世の中は面白い、心地のいゝものだらう。

智識の上にはまるで白紙の如き頭を無理無體に一つの觀念の型に嵌め込んで行く所の『教育』と言ふものは全く罪の深い商賣である。

若し、小學教育が、僅に五年間でいゝから、眞實の道理の上に行はれたら、その兒童が一人前の腕力を抱く時の到來と共に世の中は何人の抑制も突破して急轉するであらう。

幾人か集り合つて帽子を脫いで裏を引つくり返し、誰のは紙だ、誰のは本皮だと比較し合ふ事がよくあつた。その時には金持と貧乏とが、帽子に依つて計られた。幾人かの帽子の點檢が、全部濟んだ時、全體が自然に二組に分れた。無邪氣な心の隅々に、何だ一寸暗い影がたゞようのであつた。

三

三年級の末頃だつた。私は又一つの發見をした。それは、貧乏人の子が、貧乏である事を隱さうとする傾向が、何かの機會にチョイ〳〵眼に着いた事だ。

その頃、サルマタを穿く小供は稀であつた。それは又法則上、勿論金持の子の一つの特徵であつたので、穿かない者には、自分がサルマタの無い事を人に知られたくない苦勞があつた。

『サルマタなんか穿かなくつたつていゝて、お母さんが言つたんだ』何かの爭ひの時に、口惜しげに言つた一人を、僕は今でも記臆してゐる。

四

此の邊までの心理上の過程は、時間の上の相違だけで、大體誰でも同じ事だろうと思ふ。

併し、それからサキの展開は人々に依つて大變違つて來るが、大體、金持ちに倣はうとするのと、金持ちに對抗せうとするのとの、二つの傾向にわかれる。此の二つの流れが段々進んで何になるかは言ふまでもない。要するに、現社會の二つ思潮の對立はこゝから出發するのである。

此の事から私等は、兒童に對する思想宣傳の重要に想到せざるを得ない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

記臆を辿って（二）

岡千代彦

一、幸徳の書いた普選の檄文

幸徳は思想家であると共に文章家であつた、彼の一年有半や田中正造翁の直奏文は彼れが得意の執筆であると云ふ事は有名であるけれども、幸徳が書いた普選の檄文があると云ふ事は餘り知られて居ないと思ふ、明治三十五年十一月の執筆、もう二十何年前の事である。

普通選擧と云ふのは我日本國民が（二十歳以上の男子）官職者、罪人、馬鹿狂人でなければ、財産の有無多少を問はず普通一般に國會議員選擧の權を得ることである今日の衆議院選擧法では直接國税十圓以上を納むるものでなければ議員を選擧することが出來ない故に日本四千五百萬人の中で衆議院議員選擧の權あるものは僅かに百萬人に過ぎないそれ故國家の政治は唯此の一部少數の意見に左右せられ國民全體の輿論は全く無視せられて居るのである是れ憲法政治輿論政治の本旨に背くの甚しきものではないか。

我國家は國民全體の國家である我國會は四千萬同胞の利害を議する所である如何に貧乏なものと云ふても税金は納め徴兵には出て國民の一人たる義務は立派に盡して居る、即ち二億五千萬圓の國税中で今の選擧人が納むる税金は僅かに四千萬圓にも足りない、而して二億一千萬圓の税金は一般國民が納めて居るのである、夫は諸君が酒や煙草や醬油や總ての物品を買ひ又印紙や切手を貼る時に納めて居るのである徴兵の如きは如何であらう、富豪の子弟は多く中學大學に這入り徴兵猶豫とか一年兵とか云ふ名義の下に多くは猶豫か免役の特典を受けつゝある之に引換へ老ひたる親を見捨て可愛き妻兒を遺して屍を戰場に曝すものは殆んど中以下の人民ではないか、然るに國税十圓以上を納むるものでなければ國會議員を選擧し代表者を出すことが出來ぬと云ふは不道理至極の話ではないか富豪必ずしも賢くない中以下必ずしも馬鹿とは限らぬ財産によりて權利の厚薄を生ずる道理は決してないのである。

今日の如く富豪ばかりに選擧の權を與へて置けば國會が決議し定むる所の總ての法律や制度は自然に富豪の勝手に流れて中以下の人民は常に不利益の地に立つのである而して富者は益々富んで中以下は益す貧に陷り社會は益々平和を失ふて國家の前途甚だ恐るべきことになるであらう今日我國の政治界が益々腐敗墮落に向ふのも必竟金錢の力が強過ぎるのと選擧の權利が一部少數に限られ居りて賄賂其他の勝手な眞似が出來易いからである。

畏くも我　天皇は嘗て「四海の内皆朕が赤子なり率土の濱亦朕が一家なり」と宣はせ又「廣く會議を興し萬機公論に決す可し」と詔らせ玉ふたのである陛下には決して貧富の差別なく臣民一般に同等の權利を與へて皆々をして國政に與からしめんとの大御心で在らせらるゝのである

普通選擧は大正義である大必要である而して亦　上御一人の大御心を奉戴する所以である、故に我々同志のものは如何なる困難を冒しても普通選擧制にしなければならぬ我普通選擧同盟會は現に既に數萬の會員あるも獨り此會員のみに止まらず四千萬以上の諸君と共に之を成立させたいのは實に我々の本願である冀くば天下有志の士奮つて本會に加入せられ此大業を翼成されんことを望む。

幸徳彼れも初めは普選論者であつて、久津見蕨村の無政府主義に對して反對的の批評などを試みて居たが、一度渡米して歸ると無政府主義者に變化して居た。

二、幸徳の鼻歌

彼れは酒が好きであつた、週間平民新聞の記事を、夜更けて書く時には必らず微醺を帶びて居る、そうして鼻歌を唄ふて首を捻つて居る、その得意の都々逸に

黄になる〳〵蜜柑でさへも色つきや裸身になるわいな

三、澁澤に贈つて生腕事件

時は明治三十六年三月四日の晩であつた、我々は社會主義の演說會を下谷上金杉三島神社の向の寄席（今は壽亭と云ふ？）で開いた、辯士は片山潜氏及び西川、齋藤、僕達であつた。開會後間もなく、赤松勇吉君が樂屋へ飛込んで來た「先生とうとうやつけましたよ」と云つて息をはずませて居る、先生片山は「フム」と云つて微笑して居る、何事だらうと、我々は怪訝な顔をして居ると、漸くに事實の眞相を赤松から聞き取つた。

二月十七日午前九時頃石川島造船所の煉鐵工場で、金子庄藏と云ふ二十二になる職工がスチーム、ハンマーの爲めに右の腕を打碎かれたから、早速京橋築地明石町の田村病院へ擔ぎ込んで、夫れを切斷した、同僚は氣の毒がつて、一同から醵金して百五十圓を送つたが、會社は一錢もやらない、其當時の支配人は平澤道志と云ふ人で、赤松とは同郷人である爲めに、赤松が懇願的に補助方を幾度も願つたが、當會社には、そんな規則がないから、遣る事は出來ないと斷然と拒絶した。勇吉君は憤慨し、社長澁澤榮一彼れ何者ぞ、常に道德を口にし社會の師表を以つて任じながら此の悲慘事に對し、假令規則の制定なくとも一滴の涙あるべき筈である、假令彼れをして反省させずあるべからずと、決然として退社の覺悟を極め、而して金子庄藏より生腕を貰ひ受けて新聞紙包み

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とした、表面には「工業案内見本」と記して通運會社の配達便に託した、翌朝十時頃深川富澤町（其頃の本邸）澁澤家に届いた、何心なく包を解くと、中には菓子箱がある、恭しく蓋を開けると、斯は血潮未だ乾かざる男の片腕であつた、家中驚愕色を失ひ、早速警察署に届け出でた、警察は時を移さず取調べると、赤松勇吉君の義憤の仕業であつたと云ふ事が知れて、警察に召喚せられたれども、犯罪が構成せないと見えて即時に歸つた來た。

其當時、活版工の機關「誠友」は批評して曰く、「百の碎けたる腕は猶は甘受せむ。しかも一の生きたる腕の贈物あらば彼等は遂に如何とする」

四、僕と野田の勞働爭議

三十三年の一月に活版工組合が敗殘して、僕は下總の野田に落ち行くやうになつた、それは同地の南盛堂といふ石版屋さんが野田に銀行が設立せらるゝので新たに活版部を設けた、其處へ、僕一人雇はれて三月の末、都落ちをした。東京活版工の有志はこのまゝ離策するのは惜いからとて新たに、誠友會といふ一つの團體を造つた、そうして其旨を野田の僕の許へ知らせて來たから「杜鵑一聲」と云ふ短文を起稿して送つた。間もなく雜誌が五月に發行されて送つて來た、其雜誌を何時の間にか南盛堂の若主人（當時の主人）が見付けて或る日僕に直ぐ解雇すると云ひ出した。其理由を問ふと、僕が文中に「編集の筆硯を抛つて、馬糞臭い田舍に引込んだのは」云々、其馬糞臭さは野田を侮蔑したものだ、そんな處に居る必要はないと怒るのである。僕は種々と爭つた末、解雇手當を請求した。彼れは益々怒つて其要求は無法だ、そんな無法を云ふなれば、分署に來へと、先方から言ひ出した僕は同意同行した、今から二十四年前の野田町しかも、資産家の息子と旅勞働者が一騎打ちで曲非を警察で解決せんとするのである。同町の誰れ彼れは何事が起つたかと瞳を睜つて居る。急を聞きつけて、當時野田商誘銀行の支配人茂木要右衛門と云ふ人が馳つけて仲裁に入り、僕は要求の金を貰つて間もなく野田を引上げた。春嵐秋雨ごゝに二十年後野田には屢々勞働爭議が行はれ、併かも天下の耳目を聳動すべき紛爭が續けられ、大資本家連を屈服せしむる勢力が涵養せられたのは異然とせざるを得ない、僕が野田在住の當時は、醬油工場の勞働者は醬油屋者と云ふて擯斥せられ、誰をもつて書くことは知らないが、醪なら書くと威ぶる輕蔑せられて居たのが、今は一大鞏固なる勞働團體を組織して、大資本家と對峙して地歩を進めつゝあるは實に祝福すべきである。併し思ふた、野田勞働爭議は恐らく僕を以て嚆矢とするのであらうと自惚れて居るが、今は最早その頭氣も消磨し、慨然として鍛腕を撫て感慨を深くするのみ。

五、山崎伯の百萬弗

新歸朝者のパリ／＼であつた山崎伯は當時、財産合計百萬弗の名刺を盛んに振り舞したものだ、住所は赤坂三會堂前の下宿屋の別室で、表に石盤が吊し來訪者の用件を記すべく備へて三太夫も玄關番もない、勿論未婚者であつた。其後溜池の黒田邸前へ一戸を構へたので、僕等夫婦に遊びに來るやうとの事だ、或夜伯爵邸に伺候して見たが、門構ではあるが、化物屋敷然として薄氣味の惡いやうな破屋だ卓子と椅子が二三脚雜然としてあるのみで何等の裝置もない。それでも能代春慶塗りの四角な椽の取れたお盆で澁茶が出された、之れが卽ち百萬弗の伯爵邸の招待だ。其後十五六年の間に利殖して今では數百萬弗になつたゞらうか、富豪久原や貴族院の研究會の向を張つて新櫻田町十九番地に宏莊な洋館造りを建て官許社會主義者として伯爵の位地も逆上せずにニコ／＼してござる。

六、社會主義と無政府主義に對する片山君の説明

社會主義と無政府主義との異なつた點に就て君はいつも指を二本擬げて示して云ふ、此の通りだ、元の方は少しの相違でも先きに行くほど隔たりが大きくなるものだ、マルクスとバクニンと合はないのは此の理窟によるのである。

次號には片山君の日刊新聞◎大井憲太郎君の勞働本部◎神樣連の勞働問題◎初期の社會主義者茶話會◎スパイの質問會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本に實在せる共產制（3）

伊豆の諸島村（二）

御藏島

伊豆七島にも多少共產制度を從來から行つて來た所がある。此の島もその一である。

周圍四里、戶數八十戶、人口三百人位の島で、二箇村より成る。狹い島に人口の增加する事を恐れて、古來規約により新戶を設けたり、分家したる事は許されず、隨つて二男三男の如きは一生妻帶する事は禁ぜられて居る。

島村の主なる職業は殖林で、良價の黃楊の栽培採取を第一とし、外に男子は漁業を、婦人は農業を營むのである。

黃楊の村は全島の約五分の四を占め非常に良材を產する。之を村營として每春伐採して東京に送り、之を米穀その他の日用品とを交換して、普く全島の人口に分配する事になつて居る。

醫師の如きも近年島費で傭入れ、藥價その他一切の費用は島から支辨して居る。

金錢の流通は餘程稀で、すべての勞賃は物品を以て支拂ふ事になつて居る。

通常の標準は、

耕作 ―一日―

粳五合、麥五合、濁酒一升

黃揚其の他材木伐採―一日―

粳五合、麥五合、綿布二尺

材木運搬賃 ―十貫目―

糯一升

ざつとこんな所である。

統治の方法は、地役人、島民總代、村民總代等昔と何等異る所がない。

人によつては此の島の男女の道德の亂れて居る事、賭博の盛な事等及び漁業期の利益を下田邊から來る酌婦の群等に奪はれる事を攻擊して止まないものもあるが、その性慾的方面に於ては特別な制度に深い關係を持つて居るものであらうが、資本主義文明の內地でさへ、所謂上流社會の墮落は決してこれに劣らないし、又賭博に幾分文明のイブシをかけたもの丶職業として公認されて居る事を考へたら、餘り大きな口をきけないわけである。

初島

これまでに述べた諸村は、各々その生產の一部が共產制になつて居るのであるが、生產の全面に亙つて共產制が施行はれて居るのは初島である。

初島は、伊東からも熱海からも海上三里を距て、面積僅に二十五町步、人口三百人に過ぎない一小島村であるが、好く人和し、三百年來戶數を四十戶に限り海陸共に共產主義を行つて來た。如何にして斯くも長い間戶數が增さずに來たかといふに、土地分配の關係上島に古くから規約があつて、各戶の長男のみは戶主として生家に殘り、二男三男等は島で分家などをせずに例外なく、村を出て對岸の伊豆その他の地方に移住する事になつて居るからである。彼等は島と交際はつゞけるが、再び歸へつて來る事は絕えてない相である。

島の人々は農業と漁業を仕事として靜に生を樂しんで居る。そして此の島の共產制度も陸と海とによつて少しくその狀態を異にして居る。

陸地の方では、狹い島の面積から不毛の地を除くと、一戶當り四段步の畑地が殘る譯であるが、家々はそれだけの畑を、三百年來自家用として耕作し、全然併分は許されなかつたのである。

尤も之だけの畑で出來る麥と芋とは、漸く島の半年の食料を滿すに過ぎないが故に、年々內地の米を買ひ入れて補充して居る。

海の方面では更に一層共同勤作が行はれて居る。島の周圍の領海は島全體の共有する所であつて、漁業をする場合には島人一同會議の上で、家々から同人數が出て一所に働いて收穫を均分する事として居る。又海草の方は一定の採收期が來ると、係りの人が海岸で法螺貝を吹く、さうすると家々から働手が出て行つて採る事になつて居る。

即ち陸では土地の均分を、海では收穫の均分をなして居るの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が此の島の共産の現狀である。

人家の數は明治に入つてから多少の變化を生じた。最初定めを破つたのは封建的勢力家たる名主の家の分家であつた。名主は昔から少し許り廣い土地が與へられて居た。だからその餘分の土地に分家を住はせる事にしたが、分家はそれだけの土地では生活の保證が得られないので特に全島の日用品を專賣する權利を與へられて、此の兩方の收益で、家を保つて行く事になつた。今一軒は近頃名産楠細工の職人が、島に渡つて一戸を構へる事を許されて住んで居る。即ち例外的に增加された二戸に對しては、土地によらない他の方法で生活資料を得させて居る。だから四十二戸になつて後も依然生活は保證されて居るのである。

島人は共同の精神に燃えて居る。恐に近い迄正直である。泥坊は居ない。戸締の必要もなく巡査にも用事はないから居ない。島には雇人は一人も居ないのである。野に海に總ての家族が出て共同して働く。島の人は皆勞働者である。富者もなく、貧者もない。勞働義務の遂行、生存權の保證が遺憾なく果されて居る。

昔は名主があつて勢力を振つて居たが、今は島全體が熱海町内の一區になつて區長が置かれて居る。それもたゞ家々が交替して收税その他の事務をとるだけの事で、その爲に優越を得たり、又海陸でも勞働を怠る樣な事は少しもない。

共産制度の起源については不幸にして之を詳にする事は出來ないが、此の島はズツト昔は國事犯人の流罪地になつて居た形跡がある事より察して、或はそうした人々の中に優れた人物が居て、此の永久の平和の基礎を作つて置いたのではなからうかといふ事だけは考へられる。

此の二島が、生産の一部と全部に亙つても共産制に就いては多少の相違はあるが、何れも人口の增殖を恐れて各々獨特の制度を設けて居る事によつて、共産制は人口の增殖から崩壞するものゝ如く考へたら、それは大變な誤りである。初島、御藏島の如きも、在來の生産方法に甘んせず、現在の文明を以て、方法の改善と、更に新しい生産機關を設けたなら、戸數制限等と言ふ消極的な手段を取らなくても、或程度迄の調和は出來得ると思ふ。文明の進步は人口の增殖以上に長足の進行をつゞけて居る。人口の增殖は必ずしも憂ふる所ではない。

又この二島が、内地に比して著しく文化に後れて居る事は、戸數制限の消極的手段が大いに禍ひして居ると思ふ。その他血族婚等から享ける生理的關係や交通等と言ふ事も、幾分の影響を與へて居る事は勿論であらうが。

更に一層詳細に研究すれば、島の制度にも種々改む可き點も少くなからうが、初島の如き、過去三百年の永い間共産狀態を續けて來て、格別人心の墮落も來たさずに全部が幸福に暮して居る所が、日本にもあると云ふ事實は、日本の前途と人類の未來に對して少からぬ光明と慰安とを與へるものと言ふ事が出來やう。

農村問答

政　洞

A 農村問題研究と稱する學生
B 農村思想善導をなさんとする高官

A ところでゞすね、此の縣では小作爭議はないのですか。

B またこの縣で思想の惡化して始末に行かない村はありますか。そんなところがあつては堪りませんから。

A ある。猶コンナ困つた事件にブツ・カツたことがあるが、君達も家の爲にこんなものをなくしなくてはならない。

B ドンナことですか。

A 惡思想にカブレた小作人共が集まつて土地返還すると云ふんだ。其處で吾輩はこれを善導しやうとして集會を禁じたんだ。ところが村の祭の時にだ、彼等は地主を圍んで威喝するんだ。けれども吾輩の方ではお祭だから集まることを禁止する譯には行かないんだ。

A 一體農村の娛樂機關の一たる……だつて一年に一回位しかないのならば他縣に比べたならば少ないではないですか。

R ところが今日の惡い奴に使嗾された小作人は惡賢くなつて、不平があるとお祭だといつて隣村の祭にまで事づけて太鼓や鐘をたゝいて、村の重立つたものを威すといふ風なんだ。一體國家のことを思ふと……

A 仕方ないですよ。その社會が改まらない中は。

B （赤くなつて立ち上りながら）君は危險思想家だなー　若い癖に、然し吾輩が善導してゐる間は君達賣國奴には指一本指させないぞー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產青年運動을提唱함

金若水

一

資本階級에對한無產階級의集中的戰線이그內部的各方面에亘한 細胞的各部隊의組織的團結과訓練을最先의第一義的基礎條件으로하야 비로소階級戰鬪上에偉大한能率을發揮하게될것이며 따라서社會革命의歷史的使命의完成을期할것이다

二

그中에 無產青年運動의勃興은 確實히無產階級의解放戰을爲하야有力한勢力을形成하게될것이다 이運動의勃興이자못資本階級에게戰慄을與할만한 資本主義의地盤을○○할만한 致命的巨彈이될것은無疑한事實이다 要컨대 이것은青年階級의思想의向背如何는 社會革命을前後하야 그貢獻과歸趨上에至重한關係가伏在한까닭이다

三

原來로資本階級와 그들의官僚와軍閥等의私有機關을通하야現實되는 新興階級의新勢力에對한壓制政策의全体를通觀하면그것에벌서自已階級의搾取權과支配慾의滿足 또는延長을爲한周到한用意와深刻한組織的術策이잇슴을 우리는이것을無疑하게摘發할것이다 우리는모든智와情과力을集中하야 의것에對하야積極的對抗運動으로直進치안이하면안이될것이다

우리는 이제支配階級의青年階級에對한陰陽兩面의政策을檢討하면 저들의支配階級의指導에爲한思想封鎖를目的하는青年運動——이事實은明白하게저들의支配階級의陰謀深策의思想的去勢政策을말하는것이며 또는反逆的青年運動에對한 저들의支配階級의殘酷한壓迫主義를取하는——이事實은青年階級의思想的團結運動이 支配階級의根城을破壞함에 얼마나有力한勢力이되며影響이잇슴을말하는것이안인가 大体로보와서前者는日本에서顯著한現狀이니 日本全國의都市와農村에散在한官製의青年團体가그것이며 後者는朝鮮에서顯著한現狀이니 朝鮮總督府의朝鮮青年黨大會에對한壓迫과解散이그것이다

四

勿論 우리의提唱하는바 無產青年運動의當面한自然的趨勢와任務는 먼저思想戰을運動의重心으로하야出發할것이다 다시말하면青年階級에對하야階級的意識을注入하야 思想的覺醒을促進케하며 이러한青年을團結하야組織的訓練을加하야 無產階級의解放運動에對한純實勇敢한鬪士의胚種運動이될것이다

同時에現代青年階級의時代思想의浸潤과覺醒에對하야組織的妨害를與하며 또는階級的戰鬪意識의發芽伸張에對하야 去勢的毒素를散撒함에意識的重心意義를가지고잇는 青年運動에對한思想的對抗戰線이될것이다

五

無產階級運動이그革命的政策方面으로보와서 그時代 그社會에現存한歷史的狀態如何에依準하야決定될것이다 이러한意味에서朝鮮의 無產階級運動의中心이 이無產青年運動에잇슬것이다 아울너無產青年運動이特히朝鮮社會運動史上에意義深重한關係를가지고進展되여갈것이다

朝鮮의社會革命과農村運動의關係을論하는同時에 또한無產青年運動과의關係를顧慮치안이치못할것이다

現今 朝鮮青年運動의概況을보면 官製 또는半官製의青年團体와갓흔것은 全國을通하야幾個에不過하며 따라서微々不振한狀態에在하야 거이社會的存在의認識이업는現狀이다 그리하고全國的青年運動의中心勢力이 民族的觀念 民本主義的思想에胚胎되여運動이開展되여가는大勢이며現狀이다

그러면 朝鮮無產青年運動의重要한任務와使命은農村青年을中心으로한運動의組織的全國化를期成하는同時에 이러한時代錯誤的青年運動에對하야 強烈한思想的刺戟과閃光을投與하야運動의思想的基礎가階級思想으로轉化케하는導線이되지안이치못할것이다

이제無產青年運動의大勢는躍進하야國際化의質를結하게되엿다 朝鮮의無產青年이여 말하라 奮起하라團結하라

六、十九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

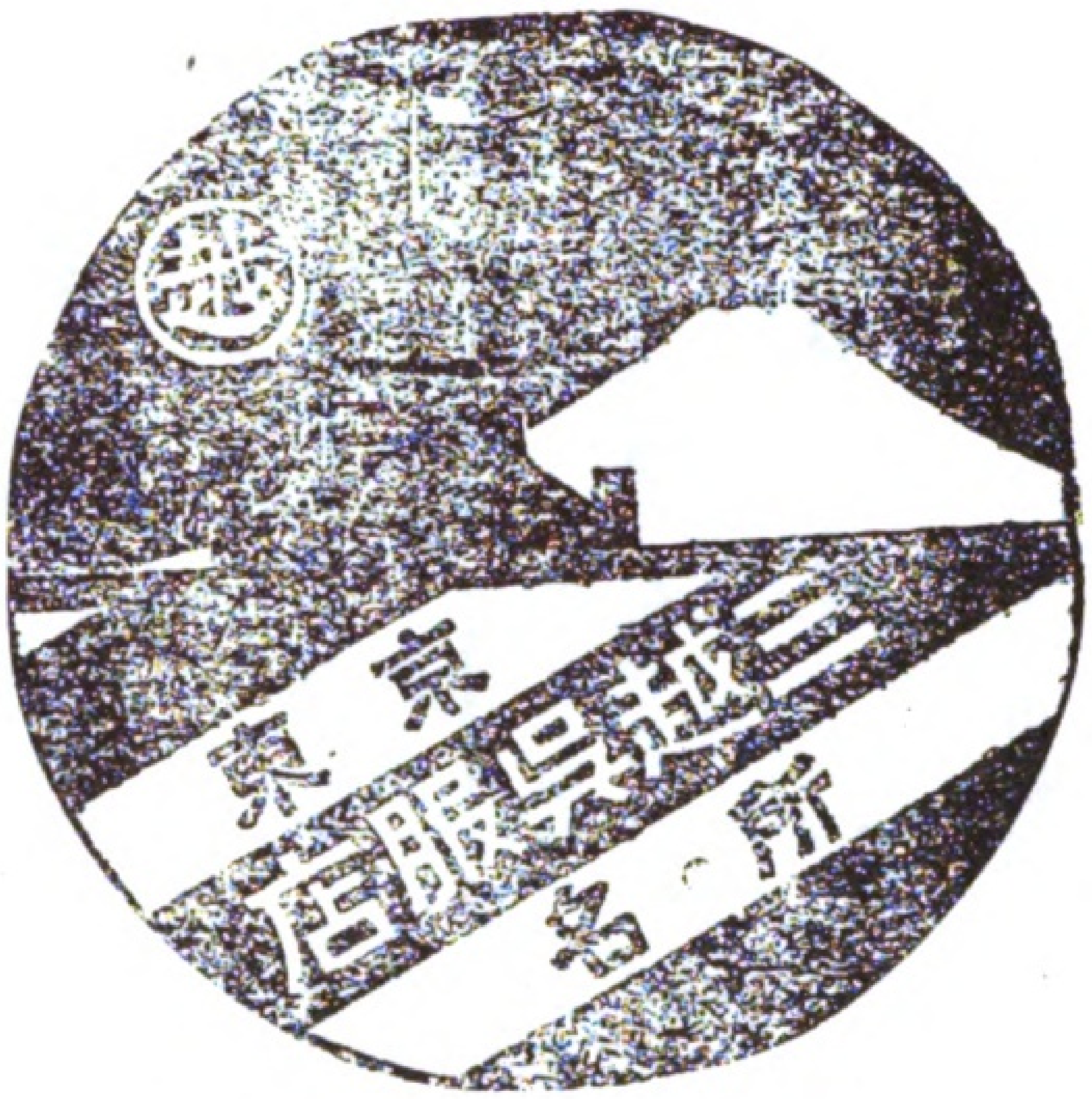
大坂
三越呉服店
高麗橋

金、銀、白金
徳力本店
東京市神田區松田町

•科学の進歩のは•
燈火の世界に偉大なる結晶を
造り上げました……
マツダ瓦斯入電球は
その代表的のものです
•同じ電氣料で
•光力倍加

日本橋區呉服町
帝國生命保險株式會社
電話本局
三一三九
三六三
七五
四七八四

森永ミルクキャラメル
森永ミルクチヨコレート
森永ゼリビンズ
森永ミルクココア
森永ミルク（煉乳）
森永ドライミルク（粉末牛乳）



□社會主義
□社會問題
□勞働問題
□婦人問題

圖書雜誌

販賣

神戸市湊川町二丁目
十六番地ノ百二十三號

上西書店

上西一郎

契約高　四億二千萬圓

積立金　八千一百餘萬圓

社長　山口吉郎兵衛

日本生命保險株式會社

專務取締役　弘世助太郎

本店　大阪市東區今橋四丁目

支店　東京、大阪、京都、名古屋、仙臺
福岡、金澤、廣島、京城

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

權威ある社會經濟の名著

◇マルクス全集第十冊◇
經濟學批判
佐野學著
―定價六圓九十錢・送料十八錢―

◇マルクス全集第十一冊◇
神聖家族
河野密譯
―定價六圓九十錢・送料十八錢―

露西亞經濟史研究
佐野學譯
―定價六圓八十錢・送料十八錢―

社會革命史論
赤松克麿著
―定價一圓九十錢，送料十二錢―

マルクス經濟學
ウンタアマン著・山川均譯
―定價二圓八十錢・送料十二錢―

唯物史觀解說
ゴルテル著・堺利彦譯
―定價二圓二十錢・送料十二錢―

マルクス傳 附エンゲルス傳
堺利彦・山川均共著
―定價二圓八十錢・送料十二錢―

東京神田今川小路　振（東京三三六一八
大阪市三休橋南　替（大阪二七一五五
大鐙閣發行

夏期社會問題講習會

講師

大山郁夫　北澤新一郎
猪俣津南雄　黑田禮二
平林初之輔　河西三郎
鈴木茂三郎　赤松克麿
北原龍雄

會費　貳圓

時日　自八月一日―至七日（午後六時―十時）

場所　東京市神田區駿河臺　ニコライ會堂

申込所　東京市外池袋九三〇　建設者同盟宛

主催　建設者同盟

現代社會の腦と筆は
賣文社

何にも彼も專門分業の世の中に、實務の人、學問の人、活動の人、政治家、事業家、商業家たる方々が、取わけて頭を使ひ手數を要さればならぬ文筆の仕事などに御自分の精力を分たれるのは、途方もない浪費と申すものです。そこで賣文社を利用なさる事は、貴方自身の能率問題となる譯であります。賣文社は熟練の技術と、多年の經驗とを以て、貴方の御心のまゝに走るペンとなり、筆となり本當に痒い處へ手の屆く働き振りを御覧に入れます。

賣文社を御利用なさることは
貴下の能率を增進

營業種目

原稿作製　立案代作　翻譯　廣告文　編輯引受
歎文　演文　文章添作　趣意書　家憲家訓
傳記　定款作成　特許願書　意匠圖案　出版印刷
寫字校正　筆記速記　謄寫版　タイプライター　其他

東京市麹町區麹町八ノ二四番地
電話九段一一〇五振替東京四六七八七
賣文社

大正十二年七月一日發行
大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 ● 毎月一回一日發行 ● 定價 一部十錢 一年一圓二十錢 ● 發行所 東京府下荏原郡大井町鈴ケ森二四七八（振替東京二二八七四） 日本勞働協會 [illegible]